

リストNo	03-001	施設コード	00015	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	アクトシティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コングレスセンター)			
所在(町名・番地)	中央区板屋町111-1			
利用者の圏域別分類等	広域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男	
	施設	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男	
設置根拠(法)	—			
条例	アクトシティ浜松条例			
設置目的	市民の文化の向上及び地域産業の発展を図るため(アクトシティ浜松条例第1条)			
主な利用者	市民(個人/文化団体)、企業、官公庁団体、学校団体他			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~			
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団			
開館時間	9:00 ~ 22:00			
建物情報	総延床面積	39,850.72	土地面積 15,438.30	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	5		うち所有面積 15,280.30
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積 158.00
	建築年月日(主要建物)	1994/8/23		
経過年数(主要建物)	29	代表地目(現況地目) 宅地		
用途地域	商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
	一般財源	—	—	
特記事項	収入、支出、及び利用状況は、「00016アクトシティ浜松Cゾーン」、「00017アクトシティ浜松Dゾーン(一部)」分を含む。			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	690,943	678,345	551,685
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	67,580	44,458	33,178
	収入計(A)	758,523	722,803	584,863
	支出(千円)	人件費	273,871	252,737
支出(千円)	物件費(委託料)	380,012	381,360	376,850
	維持補修費(修繕費)	10,550	17,679	3,699
	物件費(光熱水費)	370,150	359,115	323,412
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,034,583	1,010,891	949,198
行政コスト(B-A)	276,060	288,088	364,335	
収支前年比	95.82	79.07	88.91	
(参考)指定管理料	859,357	870,638	917,690	
(参考)減価償却費	457,226	457,775	457,775	
利用状況	利用コマ数/年	9,304	8,763	6,972
	利用可能コマ数/年	13,695	13,541	13,676
	施設利用者数/年	614,840	600,873	374,467
	開館日数/年	358	357	357
	施設定員数	5,230	5,230	5,230
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	4,056,855	5,029,486	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	動く歩道撤去工事	21,667	2020	アクトシティ浜松Aゾーン敷き砂道B-1号機用板ベルト更新工事	25,192
2022	雨水対策工事	22,269	2019	アクトシティ浜松Aゾーン送風機・排水ポンプ更新工事(2期工事)	5,852
2021	アクトシティ浜松A-Cゾーン給水・消火設備弁類等更新工事	92,848	2019	アクトシティ浜松Aゾーン舞台上手・下手木床改修工事	10,321
2021	アクトシティ浜松Aゾーン北側螺旋階段改修工事	35,811	2019	アクトシティ浜松Aゾーン空調機和機整備工事(2期工事)	77,000
2020	アクトシティ浜松Aホール舞台上手・下手木床改修工事	11,220	2019	アクトシティ浜松Aゾーン空調機自動制御機更新工事(2期工事)	60,610
2020	アクトシティ浜松Aゾーン消火設備弁類更新工事	4,730	2019	アクトシティ浜松A-C-Dゾーン消火設備更新工事	64,350

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	0.5
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	0.6
03-004	福祉交流センター	市域	0.9
03-029	南部協働センター	生活	1.0
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.1
03-022	東部協働センター	生活	1.2
03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	1.2
03-077	江東会館	コミュニティ	1.7
19-003	駅南地下駐車場	地域	0.2
09-004	中央保健福祉センター(いきいきプラザ中央)	地域	0.3
10-002	ふれあい交流センター-いたや(いきいきプラザ中央)	地域	0.3
12-001	アクトシティ浜松Cゾーン(展示イベントホール)	広域	0.3
04-002	アクトシティ浜松Dゾーン(楽器博物館・研修交流センター)	広域	0.3
23-129	新川モールトレ	地域	0.3
19-004	観光バス公共駐車場	地域	0.4
04-008	浜松科学館	市域	0.4



基本情報	リストNo	03-001	施設コード	00015	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	
	施設名	アクトシティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コングレスセンター)					施設	市民部創造都市・文化振興課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市民の文化の向上及び地域産業の発展を図るため(アクトシティ浜松条例第1条)						
		主な業務内容	芸術文化企画(公演、講演会、音楽セミナー)、研修会等の開催、貸館業務					
		主な利用者	市民(個人/文化団体)、企業、官公庁団体、学校団体他					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		景気の動向に左右されるが、一定の利用者があり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		文化事業とコンベンションの拠点施設として、今後もニーズはある。					
	特記事項		—					
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		アクト・ニューアーティスト・トシリーズ(計6回)	2023	—	—	889		
			2022	—	—	913		
			2021	—	—	554		
事業②		アクトプレミアムシリーズ(計5回)	2023	—	—	2,123		
			2022	—	—	1,650		
事業③		浜松いわた信用金庫「夢に追いかぜコンサート In 浜松」	2023	—	—	867		
			2022	—	—	840		
事業④	—	2021	—	—	750			
		2023	—	—	—			
2022	—	—	—					
2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化による施設設備の損傷・故障等が発生している。一定規模の修繕については指定管理者負担で行ってもらっているものの、大規模な改修や設備更新については市で実施する必要がある。特に舞台設備については、改修に巨額な費用が必要となることから、緊急性の高いものから更新、改修を行っている。						
	対応策	平成23年度に中長期計画、平成27年度に平成28年度から平成32年度までの5年間の短期計画、令和元年度に令和3年度から令和12年度までの10年間の計画、令和2年度に建築後80年までの長期修繕計画を作成し、計画的に改修等を行うとともに、突発的な緊急修繕にも対応していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
民間移管		—	—	—	—			
管理主体変更		—	—	—	—			
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	アクトシティの民間部分と協力し、アクトシティ活性化事業を行っている。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	6,927	7,229	9,142	1人当たりのコスト(円)	449	479	973
	施設利用率(%)	67.9	64.7	51.0	1開館日当たりのコスト(円)	771,117	806,969	1,020,546
	1日当たり利用者(人)	1,717	1,683	1,049	1定員当たりのコスト(円)	52,784	55,084	69,663
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)</p>			
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>拠点的な施設として、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PF1などの手法も視野に入れながら、大規模改修など施設の長寿命化を進めます。また、近隣市町や県との連携など、広域による運営、利活用についても検討します。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	
<p>民間との複合施設であり、適切な維持管理に努める。</p>								

リストNo	03-003	施設コード	05614
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)		
所在(町名・番地)	中央区船越町1170		
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当	課長名 木下 真弥
	施設	産業部産業振興課 雇用・労政担当	課長名 木下 真弥
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市立勤労青少年ホーム条例		
設置目的	勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を図るために設置(浜松市立勤労青少年ホーム条例第1条)		
主な利用者	市内に住所を有する又は勤務する40歳未満の勤労青少年、サークル活動利用者、地域住民、各種地域団体		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~		
管理者名	東海ビル管理(株)		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	2,932.12	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1985/4/9	
経過年数(主要建物)	39	代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域	近隣商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



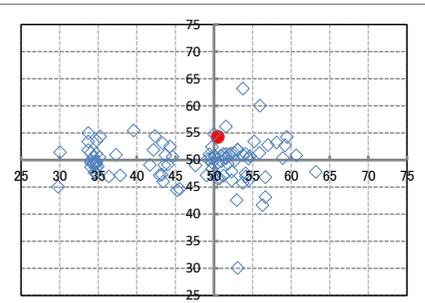
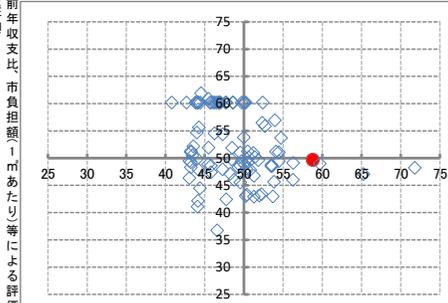
項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	11,125	10,444	10,391
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	22,409	23,726	23,612
	収入計(A)	33,534	34,170	34,003
	支出(千円)	人件費	23,318	23,592
物件費(委託料)		2,786	790	825
維持補修費(修繕費)		1,074	1,764	1,290
物件費(光熱水費)		5,429	4,796	3,697
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	32,607	30,942	30,230	
行政コスト(B-A)	-927	-3,228	-3,773	
収支前年比	28.72	85.56	-76.78	
(参考)指定管理料	17,233	17,485	16,938	
(参考)減価償却費	37,198	37,198	37,198	
利用状況	利用コマ数/年	27,700	26,142	25,881
	利用可能コマ数/年	64,008	59,007	61,506
	施設利用者数/年	135,793	125,169	122,623
	開館日数/年	360	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	491,761	446,375	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	外壁改修	34,417	2014	LED照明導入工事	4,754
2021	受変電設備改修工事	16,798	2009	直流電源装置据置鉛蓄電装置取替工事	2,667
2021	勤労青少年ホーム体育館照明設備改修工事	9,680	2007	空調設備改修工事(機械設備工事)	14,700
2020	直流電源装置更新工事	8,547			
2017	屋根防水工事	19,610			
2014	テニスコート夜間照明器具改修工事	5,270			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.0
03-022	東部協働センター	生活	1.0
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.0
03-077	江東会館	コミュニティ	1.1
03-001	アクトシティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コングレスセンター)	広域	1.2
03-030	曳馬協働センター	生活	1.3
03-031	蒲協働センター	生活	1.7
03-069	金屋会館	コミュニティ	1.8
14-039	浜松第15分団	コミュニティ	0.4
26-003	北ポンプ場	—	0.4
15-005	船越小学校	生活	0.4
07-008	さとう放課後児童会	生活	0.5
15-003	佐藤小学校	生活	0.5
07-075	さとう第2放課後児童会	生活	0.5
26-002	中ポンプ場	—	0.5
07-016	ふなこし放課後児童会	生活	0.5



基本情報	リストNo	03-003	施設コード	05614	所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当
	施設名	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)			施設	産業部産業振興課 雇用・労政担当	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		勤労青少年の健全な育成及び福祉の増進を図るために設置(浜松市立勤労青少年ホーム条例第1条)					
		主な業務内容	貸館業務、講座等の開催、自主事業				
		主な利用者	市内に住所を有する又は勤務する40歳未満の勤労青少年、サークル活動利用者、地域住民、各種地域団体				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		勤労青少年人口の減少により、勤労青少年のニーズが減少している。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		勤労青少年利用者の減少が予想されるが、地域住民の利用が増加することが予想される。				
	特記事項		—				
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		青年文化講座(事業費には一般文化講座の事業費も含む)	2023	14,043	—	3,773	
			2022	13,895	—	3,435	
			2021	13,991	—	2,775	
			のべ募集人員		参加者数		
事業②		一般文化講座	2023	—	—	21,134	
			2022	—	—	19,924	
			2021	—	—	21,954	
事業③	アイミティ祭	2023	94	—	1,000		
		2022	135	—	700		
		2021	—	—	—		
事業④	—	2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化。					
	対応策	令和3年度から勤労福祉施設(勤労会館と勤労青少年ホーム)のあり方検討を行った結果、勤労青少年ホームを拠点的施設として機能統合し、新たな勤労福祉施設として整備することとする。					
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		○	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	予定なし						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-316	-1,101	-1,287	1人当たりのコスト(円)	-7	-26	-31
	施設利用率(%)	43.3	44.3	42.1	1開館日当たりのコスト(円)	-2,575	-8,992	-10,510
	1日当たり利用者(人)	377	349	342	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
個別方針								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。</p>				<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>			
	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	
2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
<p>勤労会館と機能統合し、新たな勤労福祉施設として令和7年度に大規模改修工事を行い、令和8年度にリニューアルオープンを予定する。</p>								

リストNo	03-004	施設コード	02342
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	福祉交流センター		
所在(町名・番地)	中央区成子町140-8		
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	課長名 前嶋 卓志
	施設	健康福祉部福祉総務課	課長名 前嶋 卓志
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市福祉交流センター条例		
設置目的	地域福祉活動の拠点として、高齢者や障がい者の生きがい作りの場の提供、福祉関係団体等の活動場所の提供等を図るため		
主な利用者	福祉関係団体(高齢者、障がい者、ボランティア団体等)、小・中学校、高等学校の児童・生徒等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	社会福祉法人浜松市社会福祉協議会グループ		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	9,025.05	土地面積 5,710.49
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	5	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1984/3/31	
経過年数(主要建物)	40	うち所有面積 5,710.49	うち借地面積 0.00
用途地域	商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	2022年8月~2023年7月まで、大規模改修工事のため休館 ※開館期間:2022年は4カ月間(4月~7月)、2023年は8カ月間(8月~3月)		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	48,191	29,423	14,477
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	5,563	15,740	417
	収入計(A)	53,754	45,163	14,894
	支出(千円)	人件費	65,418	15,220
	物件費(委託料)	16,126	34,596	11,408
	維持補修費(修繕費)	542	24	33
	物件費(光熱水費)	24,375	24,961	10,801
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	106,461	74,801	50,340
	行政コスト(B-A)	52,707	29,638	35,446
	収支前年比	177.84	83.61	56.14
	(参考)指定管理料	53,705	48,177	41,114
	(参考)減価償却費	68,621	68,621	68,621
利用状況	利用コマ数/年	22,523	14,275	4,289
	利用可能コマ数/年	73,843	50,750	18,753
	施設利用者数/年	125,486	83,062	23,467
	開館日数/年	307	203	78
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	509,799	686,206	—	

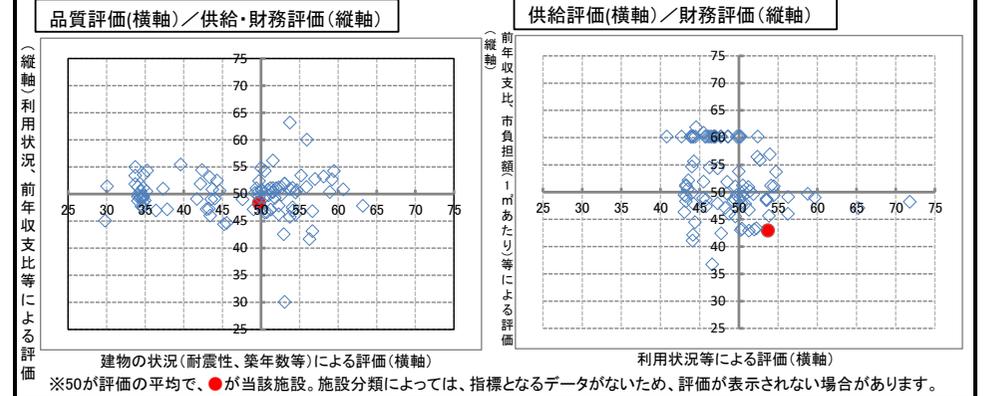
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	機能拡充工事	123,932	2017	1階污水配管更新工事	7,344
	2022	大規模改修工事	1,887,395	2017	内装改修工事	9,176
	2022	吊り天井落下防止対策工事	24,987	2016	修繕計画工事(機械)	24,254
	2019	屋根・外壁改修工事	9,020	2016	修繕計画工事(電気)	4,986
	2018	建築工事(引戸開閉装置取替、自動ドアエンジン取替)	9,022	2016	修繕計画工事(建築)	27,969
	2018	電気設備工事(電話交換設備及びトイレ呼出し表示器改修)	7,210	2016	舞台機構設備改修工事(第3期)	20,736

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-029	南部協働センター	生活	0.6
03-008	鴨江アートセンター	地域	0.7
03-001	アクティビティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コンgresセンター)	広域	0.9
03-028	県居協働センター	生活	1.0
03-080	江西会館	コミュニティ	1.2
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.2
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.2
03-006	勤労会館(Uホール)	地域	2.0
15-007	双葉小学校	生活	0.4
07-013	こだま放課後児童会	生活	0.4
01-010	海老塚事務所	地域	0.4
19-002	ザザシティ駐車場	地域	0.5
05-006	武道館	市域	0.5
14-032	浜松第4分団	コミュニティ	0.6
01-006	ザザシティ浜松中央館5階	市域	0.6
07-001	浜松子ども館	市域	0.6



基本情報	リストNo	03-004	施設コード	02342	所管課	本庁	健康福祉部福祉総務課	
	施設名	福祉交流センター			施設	健康福祉部福祉総務課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	人と人とのつながりをつくる社会の実現						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		地域福祉活動の拠点として、高齢者や障がい者の生きがい作りの場の提供、福祉関係団体等の活動場所の提供等を図るため						
		主な業務内容	貸館業務(ホール等)、福祉関連の講座およびイベント等の開催					
		主な利用者	福祉関係団体(高齢者、障がい者、ボランティア団体等)、小・中学校、高等学校の児童・生徒等					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は減少していない。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化に伴い、高齢者団体やボランティア団体の利用増加が予想される。					
	特記事項		—					
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
事業④	—	2023	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	大規模改修工事を終え、令和4年8月1日にリニューアルオープンしたが、築40年経過により老朽化している箇所もあることから、今後も継続的な修繕が必要である。						
	対応策	施設や設備に不具合が生じた場合は、優先順位を付けて計画的に修繕を行う。また、緊急を要する修繕については、指定管理者との協定に基づき、適切に対応する。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討			
複合化	—	—	○	周辺の公共施設の廃止等も考慮しながら検討				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	指定管理者制度導入済み							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	5,840	3,284	3,928	1人当たりのコスト(円)	420	357	1,510
	施設利用率(%)	30.5	28.1	22.9	1開館日当たりのコスト(円)	171,684	146,000	454,436
	1日当たり利用者(人)	409	409	301	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



個別方針	利用者の圏域毎の方向性	各用途別で必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には、利用状況を踏まえ統廃合や複合化を検討するとともに、民間活力導入も検討をする。								

基本情報	リストNo	03-005	施設コード	02410	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	浜北文化センター			施設	浜北区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	市民ミュージアム浜北							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の文化的教養の向上に資するため(浜松市浜北文化センター条例第1条)							
		主な業務内容	貸館業務・施設を活用した事業の実施						
		主な利用者	生涯学習関連団体、高齢者団体、不特定多数の一般市民等						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	施設の老朽化により、大規模改修工事を実施予定、ニーズに合わせた工事を実施予定						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	大規模改修工事を行うことにより、利用者が増加していく傾向。							
	特記事項	小・中・高等学校の発表会等で多数利用いただいている。							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
		事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	
				2022	—	—	—	—	
				2021	—	—	—	—	
		事業②	—	2023	—	—	—	—	
2022				—	—	—	—		
2021				—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
事業④		—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
	2021		—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	令和6年度より施設の大規模改修工事を実施、長寿命化を図る。(使用年数80年を目指す)							
	対応策	大規模改修後の施設管理を適切に行う。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	平成18年度から指定管理施設制度を導入している。今後も、指定管理による運営を継続していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	7,207	7,610	7,888	1人当たりのコスト(円)	328	378	511
	施設利用率(%)	33.0	33.5	29.1	1開館日当たりのコスト(円)	212,968	224,870	233,078
	1日当たり利用者(人)	649	595	456	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
令和6年度より大規模改修工事を実施。(令和6年5月～令和7年5月)								

リストNo	03-006	施設コード	05613
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	勤労会館(Lホール)		
所在(町名・番地)	中央区城北一丁目27		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当	課長名 木下 真弥
	施設	産業部産業振興課 雇用・労政担当	課長名 木下 真弥
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市勤労会館条例		
設置目的	勤労者等の文化の向上及び福祉の増進を図る(浜松市勤労会館条例第1条)		
主な利用者	勤労者団体等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	浜松市勤労福祉協会・三幸共同事業体		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	3,577.49	土地面積 2,956.30
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	4	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1984/2/28	
	経過年数(主要建物)	40	
用途地域	近隣商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	22,105	26,423	25,224
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3,919	2,889	4,047
	収入計(A)	26,024	29,312	29,271
	支出(千円)	人件費	10,509	10,555
物件費(委託料)		11,432	10,369	9,676
維持補修費(修繕費)		1,200	2,358	2,959
物件費(光熱水費)		10,896	12,141	9,720
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	34,037	35,423	33,222	
行政コスト(B-A)	8,013	6,111	3,951	
収支前年比	131.12	154.67	26.23	
(参考)指定管理料	29,200	29,436	23,043	
(参考)減価償却費	25,235	25,235	25,235	
利用状況	利用コマ数/年	6,548	8,222	8,134
	利用可能コマ数/年	37,046	35,069	35,804
	施設利用者数/年	66,217	81,137	71,878
	開館日数/年	360	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	208,622	252,349	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	給水配管・空調設備改修工事	30,467	2014	空調設備改修工事	92,487
2020	給水設備改修工事	26,819	2014	防音化改修工事	7,247
2020	ホール舞台照明設備改修工事	54,450	2014	LED照明導入工事	2,322
2019	消防設備更新工事	19,604	2013	BEMS導入工事	4,614
2019	非常用発電設備更新工事	20,411	2012	屋上防水改修工事	8,765
2016	受変電設備改修工事	6,405	2011	電波障害対策施設撤去工事	2,000

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-025	西部協働センター	生活	0.7
03-078	城北会館	コミュニティ	1.0
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.1
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.2
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.3
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.4
03-021	和地山公園集会所	生活	1.4
03-001	アクティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コンgresセンター)	広域	1.7
04-015	茶室「松韻亭」	地域	0.2
14-002	消防局・中消防署	市域	0.3
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.3
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.4
14-034	浜松第6分団	コミュニティ	0.5
15-006	追分小学校	生活	0.5
15-100	浜松中部学園(中部小学校・中学校)	生活	0.5
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	0.5



基本情報	リストNo	03-006	施設コード	05613	所管課	本庁	産業部産業振興課 雇用・労政担当
	施設名	勤労会館(Uホール)				施設	産業部産業振興課 雇用・労政担当
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	だれもが働きやすい労働・雇用環境の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		勤労者等の文化の向上及び福祉の増進を図る(浜松市勤労会館条例第1条)					
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(講座等の開催)				
		主な利用者	勤労者団体等				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		平成23年度をピークに施設の利用率が低下傾向にある。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		人口減少等により、需要が低下すると予測される。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		Uホールコンサート	2023	360	のべ募集人員	参加者数	
			2022	1,186	—	438	
			2021	893	—	113	
事業②		Uホールフェスタ	2023	311	—	333	
			2022	301	—	427	
			2021	226	—	325	
事業③		各種講座	2023	117	—	153	
	2022		190	—	145		
	2021		—	—	172		
事業④	—	2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設及び設備の老朽化が著しい。					
	対応策	令和3年度から勤労福祉施設(勤労会館と勤労青少年ホーム)のあり方検討を行った結果、勤労青少年ホームを拠点的施設として機能統合し、新たな勤労福祉施設として整備することとした。勤労会館としての建物は廃止する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		○	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	予定なし						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	2,240	1,708	1,104	1人当たりのコスト(円)	121	75	55	
	施設利用率(%)	17.7	23.4	22.7	1開館日当たりのコスト(円)	22,258	17,022	11,006	
	1日当たり利用者(人)	184	226	200	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価	<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	複合化	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—	
令和3年度から勤労福祉施設(勤労会館と勤労青少年ホーム)のあり方検討を行った結果、勤労青少年ホームを拠点的施設として機能統合し、勤労会館は令和7年度末をもって廃止する。									

リストNo	03-007	施設コード	04617
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)		
所在(町名・番地)	中央区幸三丁目3番1号		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部UD・男女共同参画課	課長名 河合 多恵子
	施設	市民部UD・男女共同参画課	課長名 河合 多恵子
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター条例		
設置目的	男女共同参画及び音楽、舞踊、演劇その他の文化芸術に関する活動の推進を図るため(浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター条例第1条)		
主な利用者	男女共同参画推進団体、文化芸術活動推進団体		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	東海ビル管理株式会社・特定非営利活動法人浜松男女共同参画推進協会グループ		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	3,570.68	土地面積 6,667.66
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2013/9/20	
	経過年数(主要建物)	10	
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	29,900	28,664	25,725
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2,823	1,940	1,908
	収入計(A)	32,723	30,604	27,633
	支出(千円)	人件費	18,580	16,591
物件費(委託料)		11,023	10,970	11,545
維持補修費(修繕費)		1,409	851	539
物件費(光熱水費)		6,711	7,569	5,750
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	37,723	35,981	33,124	
行政コスト(B-A)	5,000	5,377	5,491	
収支前年比	92.99	97.92	54.31	
(参考)指定管理料	7,491	7,491	7,491	
(参考)減価償却費	11,418	13,552	13,552	
利用状況	利用コマ数/年	40,217	38,778	35,622
	利用可能コマ数/年	58,802	58,417	57,200
	施設利用者数/年	109,293	101,241	87,757
	開館日数/年	348	347	347
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	395,964	404,835	—	

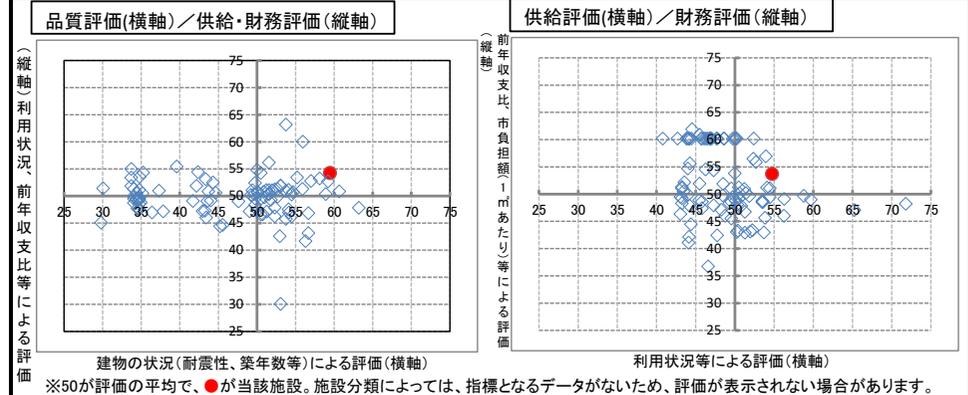
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2013	新活動拠点施設整備工事(建築工事)	603,750			
2013	新活動拠点施設整備工事(機械設備工事)	140,804			
2013	新活動拠点施設整備工事(電気設備工事)	95,193			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-070	幸町会館	コミュニティ	0.1
03-075	和泉会館	コミュニティ	0.5
03-024	高台協働センター	生活	1.0
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.4
03-021	和地山公園集会所	生活	1.6
03-069	金屋会館	コミュニティ	1.6
03-074	和合会館	コミュニティ	1.6
03-027	北部協働センター	生活	1.8
15-024	萩丘小学校	生活	0.6
17-001	四ツ池公園	地域	0.6
05-002	四ツ池公園浜松球場	広域	0.6
05-001	四ツ池公園陸上競技場	広域	0.6
14-008	中消防署高台出張所	地域	0.6
14-036	浜松第10分団	コミュニティ	0.6
15-020	泉小学校	生活	0.6
07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.7



基本情報	リストNo	03-007	施設コード	04617	所管課	本庁	市民部UD・男女共同参画課
	施設名	男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)				施設	市民部UD・男女共同参画課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	一人ひとりが自己実現できる男女共同参画の推進、芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		男女共同参画及び音楽、舞踊、演劇その他の文化芸術に関する活動の推進を図るため(浜松市男女共同参画・文化芸術活動推進センター条例第1条)					
		主な業務内容	男女共同参画及び文化芸術活動の推進に関する事及びその推進を図るための施設の提供に関する事。				
		主な利用者	男女共同参画推進団体、文化芸術活動推進団体				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 少子高齢化は進んでいくが、施設設置主旨に合致する団体等の根強い活動は継続していく見込みである。						
	特記事項 —						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築年数が10年を超え、修繕を要する箇所が増えてきているところである。入館者に安全・快適に利用してもらえるよう今後も施設を適切に維持管理していく。					
	対応策	計画的に修繕等を行うとともに緊急修繕にも対応していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者による管理運営を継続し、更新年度には、応募があった団体から最も施設の効用を発揮できる団体を選定していく。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	1,400	1,506	1,538	1人当たりのコスト(円)	46	53	63
	施設利用率(%)	68.4	66.4	62.3	1開館日当たりのコスト(円)	14,368	15,496	15,824
	1日当たり利用者(人)	314	292	253	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



利用者の圏域毎の方向性
 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性
 今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—
当面適切な維持管理に努める。							

リストNo	03-008	施設コード	04601
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	鴨江アートセンター		
所在(町名・番地)	中央区鴨江町1		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
	施設	市民部創造都市・文化振興課	課長名 鈴木 三男
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市鴨江アートセンター条例		
設置目的	文化芸術に関し、創作活動、市民の交流及び情報の発信を推進し、もって市民の文化芸術活動の発展に資するため(浜松市鴨江アートセンター条例第1条)		
主な利用者	アーティスト、芸術大学に通う学生、親子連れ、近隣住民等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2023/04/01 ~		
管理者名	浜松創造都市協議会・東海ビル管理グループ		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	1,334.68	土地面積 1,080.85
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.27	
	耐震工事(主要建物)	有	
	建築年月日(主要建物)	1928/10/1	
土地情報	うち所有面積	1,080.85	
	うち借地面積	0.00	
代表地目(現況地目)	官公庁用地		
用途地域	第二種住居地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	5,106	5,957	5,598
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,957	1,229	2,730
	収入計(A)	7,063	7,186	8,328
	支出(千円)	人件費	16,565	15,754
物件費(委託料)		2,373	2,426	2,360
維持補修費(修繕費)		818	471	182
物件費(光熱水費)		2,105	2,672	2,089
物件費(借地利)		0	0	0
支出計(B)	21,861	21,323	19,618	
行政コスト(B-A)	14,798	14,137	11,290	
収支前年比	104.68	125.22	74.39	
(参考)指定管理料	21,540	21,450	21,450	
(参考)減価償却費	0	4,929	4,928	
利用状況	利用コマ数/年	11,312	12,874	11,250
	利用可能コマ数/年	30,888	30,888	30,369
	施設利用者数/年	26,112	26,004	21,743
	開館日数/年	353	353	353
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	82,372	0	—	

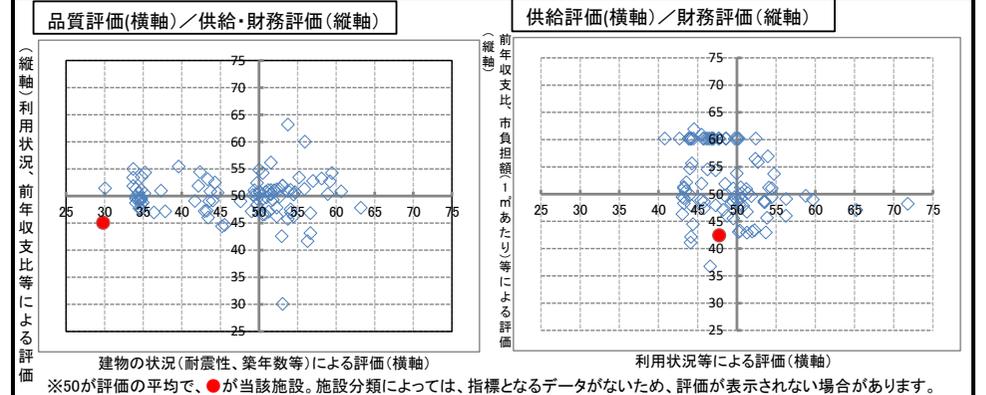
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	外壁改修工事	25,936			
2023	屋根防水工事	15,740			
2019	浜松市鴨江アートセンター非常放送設備等設置工事	4,923			
2009	浜松市鴨江別館改修工事	241,322			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-004	福祉交流センター	市域	0.7
03-028	県居協働センター	生活	0.9
03-001	アクティビティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コンgresセンター)	広域	1.1
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.1
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.1
03-029	南部協働センター	生活	1.3
03-025	西部協働センター	生活	1.4
03-006	勤労会館(Uホール)	地域	1.4
04-033	旧浜松銀行協会	文化財	0.1
04-014	浜松復興記念館	地域	0.3
15-004	西小学校	生活	0.3
22-004	夜間救急室	市域	0.4
19-002	ザザシティ駐車場	地域	0.5
13-011	東伊場団地	地域	0.6
06-001	中央図書館	市域	0.6
14-029	浜松第1分団	コミュニティ	0.6



基本情報	リストNo	03-008	施設コード	04601	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課
	施設名	鴨江アートセンター				施設	市民部創造都市・文化振興課
	人員数	正規職員(人)	—	金計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	芸術・文化の拠点の創造と発信					
	設置目的(再掲)	文化芸術に関し、創作活動、市民の交流及び情報の発信を推進し、もって市民の文化芸術活動の発展に資するため(浜松市鴨江アートセンター条例第1条)					
	主な業務内容	創作活動・文化交流事業・創造的活動推進事業開催業務、貸し館業務					
	主な利用者	アーティスト、芸術大学に通う学生、親子連れ、近隣住民等					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	文化芸術活動の拠点施設として、今後もニーズはある。					
	特記事項	—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業① アーティスト イン レジデンス(関連イベント含む)	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数
			2022	—	—	—	2,994
2021			—	—	—	3,100	
2020			—	—	—	2,900	
事業② TALK & TALK ※2023年は6回開催	2023	—	—	—	146		
	2022	—	—	—	66		
	2021	—	—	—	89		
事業③ OUT OF SCHOOL ※2023年は12回開催	2023	—	—	—	222		
	2022	—	—	—	159		
	2021	—	—	—	156		
事業④ かもえのあさいちワークショップ ※2023年は6回開催	2023	—	—	—	92		
	2022	—	—	—	91		
2021	—	—	—	—	109		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課 記入欄	課題	築造から長期間が経過し、壁塗装の剥がれ、ひび割れ、天井のカビ等が生じている。					
	対応策	歴史的建造物を活用した施設であるため修繕に制限があるが、状態を確認しながら慎重に修繕等を行う。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	創造都市・浜松の実現に向けた創作活動やアーティストと市民の交流等、ソフト事業について民間活力の活用を基本に進める。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	11,087	10,592	8,459	1人当たりのコスト(円)	567	544	519
	施設利用率(%)	36.6	41.7	37.0	1開館日当たりのコスト(円)	41,921	40,048	31,983
	1日当たり利用者(人)	74	74	62	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



利用者の圏域毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

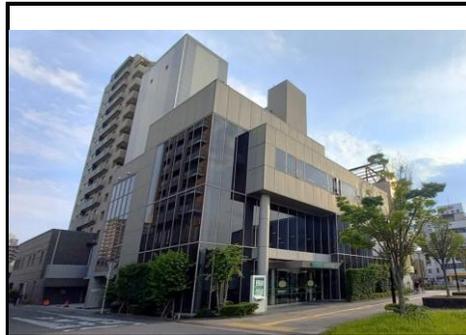
利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他

当面適切な維持管理に努める。

リストNo	03-009	施設コード	04142			
利用用途別分類(施設分類)	集会施設					
施設名	はまこら(市民協働センター)					
所在(町名・番地)	中央区中央一丁目13-3					
利用者の圏域別分類等	市域	非中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 嶋津 裕亮			
	施設	市民部市民協働・地域政策課	課長名 嶋津 裕亮			
設置根拠(法)	—					
条例	浜松市市民協働センター条例					
設置目的	市民協働を推進するための拠点として、市民活動(市民及び事業者が自主的に参加して自発的に行う営利を目的としない活動であって社会貢献性をもつもの)を促進することにより、市民、市民活動団体、事業者及び市が協力・連携して公益の増進を図り、豊かで活力ある市民主体の地域社会を築くため					
主な利用者	市民活動団体					
運営形態	指定管理者					
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~					
管理者名	浜松市民協働サポートグループ					
開館時間	9:00 ~ 21:30					
建物情報	総延床面積	1,439.14	土地面積	1,130.14		
	構造(主要建物)	鉄骨造(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)		うち所有面積	1,130.14	
	地上階数(主要建物)	3			うち借地面積	0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	2002/1/15				
経過年数(主要建物)	22					
用途地域	商業地域					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	3,236	3,147	2,617
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	4,191	4,024	3,758
	収入計(A)	7,427	7,171	6,375
	人件費	26,210	25,546	26,033
支出(千円)	物件費(委託料)	444	382	394
	維持補修費(修繕費)	788	2,190	207
	物件費(光熱水費)	4,066	4,811	4,065
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	31,508	32,929	30,699	
行政コスト(B-A)	24,081	25,758	24,324	
収支前年比	93.49	105.90	93.98	
(参考)指定管理料	40,660	42,233	40,057	
(参考)減価償却費	17,776	17,776	17,776	
利用状況	利用コマ数/年	5,300	5,383	4,918
	利用可能コマ数/年	23,279	23,114	18,219
	施設利用者数/年	21,984	17,424	15,164
	開館日数/年	360	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	210,738	267,300	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	空調設備改修工事	40,528			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	0.1
03-001	アクティビティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コンgresセンター)	広域	0.5
03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	1.0
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.1
03-004	福祉交流センター	市域	1.2
03-006	勤労会館(Uホール)	地域	1.3
03-022	東部協働センター	生活	1.3
03-029	南部協働センター	生活	1.4
11-002	浜松市若者コミュニティプラザ	市域	0.0
01-005	地域情報センター	市域	0.1
17-002	新川緑地	地域	0.2
13-096	イーステージ浜松団地(特公賃)	地域	0.2
13-001	イーステージ浜松団地	地域	0.2
01-004	イーステージ浜松オフィス棟	市域	0.3
14-030	浜松第2分団	コミュニティ	0.3
10-002	ふれあい交流センター-いたや(いきいきプラザ中央)	地域	0.3



基本情報	リストNo	03-009	施設コード	04142	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	はまこら(市民協働センター)				施設	市民部市民協働・地域政策課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民協働を推進するための拠点として、市民活動(市民及び事業者が自主的に参加して自発的に行う営利を目的としない活動であって社会貢献性をもつもの)を促進することにより、市民、市民活動団体、事業者及び市が協力・連携して公益の増進を図り、豊かで活力ある市民主体の地域社会を築くため					
		主な業務内容	貸館業務・市民活動団体等の支援				
	主な利用者	市民活動団体					
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		設置当初に比し、特定非営利活動法人や市民活動団体は増加しており、社会ニーズがある。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	市民活動団体等への支援の需要は高まる。				
	特記事項	民営によるシェアオフィス、レンタルスペースの増加					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		市民活動団体相互の間及び市民活動団体と関係機関、団体等との連携及び交流の促進	2023	—	—	629	
		2022	—	—	417		
		2021	—	—	627		
事業②		市民活動団体の育成に関する講座の開催業務	2023	—	—	79	
		2022	—	—	78		
事業③		市民活動を行う人材の育成に関する講座等の開催業務	2023	—	—	222	
		2022	—	—	167		
事業④	—	2021	—	—	88		
	2023	—	—	—			
2022	—	—	—				
2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・おおむね10年ごとに大規模修繕が予定されており、民間との区分所有であるため持分割合に応じた修繕費を必要とする。					
	対応策	・専有部分については、日常点検等により不具合の早期発見に努め、適宜修繕を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者による管理・運営を継続し、更新年度には、応募があった団体から最も施設の効用を発揮できる団体を選定していく。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	16,733	17,898	16,902	1人当たりのコスト(円)	1,095	1,478	1,604
	施設利用率(%)	22.8	23.3	27.0	1開館日当たりのコスト(円)	66,892	71,749	67,755
	1日当たり利用者(人)	61	49	42	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)			供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	各用途別が必要に応じ、1施設から2施設程度の配置を基本とします。利用状況など、将来的見通しを踏まえた上で、市域施設としての位置づけそのものを常に検討しつつ、民間への移管や、拠点的な施設として広域同様に、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、PFIなどの手法も検討しつつ、最適な管理運営と長寿命化に取り組みます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
市民協働を推進するための拠点であり、市民、市民活動団体、事業者等、多様な主体の相談窓口や活動の場としての役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-010	施設コード	04149		
利用用途別分類(施設分類)	集会施設				
施設名	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)				
所在(町名・番地)	中央区早馬町2-1				
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域			
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設		
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一		
	施設	中央区・まちづくり推進課	課長名 宮崎 幹啓		
設置根拠(法)	—				
条例	浜松市文化コミュニティセンター条例				
設置目的	市民の文化の向上及びコミュニティ活動の推進を図るため(浜松市文化コミュニティセンター条例第1条)				
主な利用者	市民、その他				
運営形態	指定管理者				
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~				
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団				
開館時間	9:00 ~ 21:30				
建物情報	総延床面積	10,375.03	土地面積	3,616.68	
	構造(主要建物)	鉄骨鉄筋コンクリート造		うち所有面積	3,616.68
	地上階数(主要建物)	6			
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1988/6/1			
	経過年数(主要建物)	35			
用途地域	商業地域				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
	設置事業費	4,879,664	—	4,879,664	
財源	国・県	50,000	—	50,000	
	寄付金	—	—	—	
	その他	20,266	—	20,266	
	市債	3,255,200	—	3,255,200	
	一般財源	1,554,198	—	1,554,198	
特記事項	文芸館(指定管理)、人権啓発センター(直営)等複合施設				



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	51,593	52,239	43,617
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	17,265	12,759	16,023
	収入計(A)	68,858	64,998	59,640
	支出(千円)	人件費	84,929	80,510
物件費(委託料)		61,619	75,760	61,978
維持補修費(修繕費)		8,969	13,622	6,869
物件費(光熱水費)		32,981	32,981	25,068
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	188,498	202,873	173,819	
行政コスト(B-A)	119,640	137,875	114,179	
収支前年比	86.77	120.75	32.06	
(参考)指定管理料	102,445	102,445	102,445	
(参考)減価償却費	45,102	45,102	45,102	
利用状況	利用コマ数/年	41,460	42,325	36,251
	利用可能コマ数/年	94,963	94,357	94,038
	施設利用者数/年	302,573	282,669	243,809
	開館日数/年	352	354	356
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	557,187	471,522	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	ホール移動式ステージ更新	7,663	2019	雨漏り対策工事	7,131
2020	ホール吊物制御装置更新工事	14,850	2018	クリエート浜松エレベーター改修工事	130,799
2020	ホール舞台照明設備等改修工事	96,800	2016	ホール音響設備改修工事	8,969
2020	エスカレーター改修工事	96,800	2015	中央監視装置改修工事	7,884
2020	空調自動制御装置改修工事	10,340	2014	LED照明一括導入工事	25,262
2020	受変電設備改修工事	9,020	2014	5階文芸館改修工事	19,766

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	0.1
03-001	アクティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コンgresセンター)	広域	0.6
03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	1.0
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.1
03-006	勤労会館(Uホール)	地域	1.2
03-004	福祉交流センター	市域	1.2
03-022	東部協働センター	生活	1.4
03-029	南部協働センター	生活	1.5
11-002	浜松市若者コミュニティプラザ	市域	0.1
17-002	新川緑地	地域	0.2
13-096	イーステージ浜松団地(特公賃)	地域	0.2
13-001	イーステージ浜松団地	地域	0.2
01-005	地域情報センター	市域	0.2
01-004	イーステージ浜松オフィス棟	市域	0.2
14-030	浜松第2分団	コミュニティ	0.4
23-129	新川モールトレ	地域	0.4



基本情報	リストNo	03-010	施設コード	04149	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)			施設	中央区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	3	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	1		
施設運営分析	複合施設	文芸館、人権啓発センター							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の文化の向上及びコミュニティ活動の推進を図るため(浜松市文化コミュニティセンター条例第1条)							
		主な業務内容	施設の維持管理・貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)						
		主な利用者	市民、その他						
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか							
		一定の利用者があり、需要は確保されている。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	本市の文化・生涯学習活動の中心として、社会的ニーズは中長期的にも継続する。						
		特記事項	—						
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—	
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業②	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
	事業③	—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
事業④	—	2023	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築後35年以上が経過し、施設全体で老朽化が進んでいる。既に交換用の部品が生産されておらず、修繕が困難な設備も存在する。							
	対応策	今後、改修計画を策定し、計画的に長寿命化を図っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
代替サービス	—	—	—	—					
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	平成18年度に指定管理者制度を導入し、今後も指定管理による運営を継続していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	11,532	13,289	11,005	1人当たりのコスト(円)	395	488	468
	施設利用率(%)	43.7	44.9	38.5	1開館日当たりのコスト(円)	339,886	389,477	320,728
	1日当たり利用者(人)	860	799	685	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-011	施設コード	02760
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	雄踏文化センター		
所在(町名・番地)	中央区雄踏町宇布見5427		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	中央区・西行政センター	課長名 渡辺 貴史
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市雄踏文化センター条例		
設置目的	生涯学習の推進、芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市雄踏文化センター条例第1条)		
主な利用者	生涯学習関係団体、地域活動団体、学校関係など		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2021/04/01 ~		
管理者名	東海ビル管理グループ		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	7,093.23	土地面積 14,837.59
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1989/11/30	
経過年数(主要建物)	34	うち所有面積 14,837.59	うち借地面積 0.00
用途地域	第二種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	23,533	13,168	16,102
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1,170	829	1,301
	収入計(A)	24,703	13,997	17,403
支出(千円)	人件費	36,231	34,552	32,694
	物件費(委託料)	15,374	15,207	15,185
	維持補修費(修繕費)	7,424	8,699	1,354
	物件費(光熱水費)	17,179	13,535	10,551
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	76,208	71,993	59,784	
行政コスト(B-A)	51,505	57,996	42,381	
収支前年比	88.81	136.84	82.55	
(参考)指定管理料	43,470	47,862	42,970	
(参考)減価償却費	26,470	26,470	26,470	
利用状況	利用コマ数/年	22,340	17,760	16,836
	利用可能コマ数/年	75,477	80,457	79,820
	施設利用者数/年	105,262	66,156	72,225
	開館日数/年	356	354	356
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	717,822	303,199	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	LPガスバルク貯槽更新工事	6,908	2022	大ホール音響調整卓改修工事	3,773
2023	受変電設備改修工事	51,681	2020	イベントホール調光操作卓更新工事	6,160
2022	大ホール舞台機構改修工事	128,700	2019	外壁及び屋根改修工事	76,567
2022	吊り天井落下防止対策工事	87,233	2019	中央監視装置更新工事	4,950
2022	大ホール舞台照明設備改修工事	69,300	2017	調理室空調設備改修工事	3,405
2022	給水設備改修工事	35,672	2016	第2駐車場舗装改修工事	12,608

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
07-034	雄踏なかよし第1放課後児童会	生活	0.1	
15-047	雄踏小学校	生活	0.1	
08-017	雄踏保育園	生活	0.2	
06-009	雄踏図書館	地域	0.3	
04-036	重要文化財中村家住宅	文化財	0.5	
14-057	浜松第46分団	コミュニティ	0.5	
13-037	田端団地	地域	0.6	
21-002	雄踏斎場	地域	0.6	



基本情報	リストNo	03-011	施設コード	02760	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当		
	施設名	雄踏文化センター				施設	中央区・西行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	金計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		生涯学習の推進、芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市雄踏文化センター条例第1条)								
		主な業務内容	貸館業務・自主事業(イベントや講座の開催)							
		主な利用者	生涯学習関係団体、地域活動団体、学校関係など							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		地域の文化活動創造の場として、社会的ニーズは中長期的にも継続する。							
	特記事項		—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		西区地域力向上事業・伝統文化支援事業業務(子ども歌舞伎体験教室、子ども歌舞伎・セリフ及び所作の稽古、定期公演)	2023	1,500	—	853				
			2022	1,500	—	492				
			2021	20	—	—				
			2020	—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
事業④		—	2023	—	—	—				
	2022		—	—	—					
2021		—	—	—						
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築後30年以上が経過し、施設・設備の老朽化が進んでいる。利用者の安全確保を最優先に、修繕・改修を適宜行うなど、適切な維持管理に努める。								
	対応策	利用者が安全で安心できる施設を提供するため、施設・設備の老朽化に応じた計画的な改修を目指すとともに、突発的な緊急修繕についても適切に対応していく。小規模な修繕については、リスク分担に応じて指定管理者が修繕するなど、適切な維持管理に努める。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	—									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	7,261	8,176	5,975	1人当たりのコスト(円)	489	877	587
	施設利用率(%)	29.6	22.1	21.1	1開館日当たりのコスト(円)	144,677	163,831	119,048
	1日当たり利用者(人)	296	187	203	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-012	施設コード	00937	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	みをつくし文化センター			
所在(町名・番地)	浜名区細江町気賀369			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	浜名区・北行政センター	課長名 堤 信弘	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市みをつくし文化センター条例 浜松市細江農業就業改善センター条例			
設置目的	生涯学習の推進を図り、明るい豊かな市民生活の形成に寄与するため(浜松市みをつくし文化センター条例第1条)			
主な利用者	生涯学習関係団体、地域活動団体、学校関係、官公署等			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~			
管理者名	東海ビル管理(株)			
開館時間	9:00 ~ 21:30			
建物情報	総延床面積	2,450.50	土地面積 6,580.87	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	2011/2/10		
土地情報	うち所有面積	6,580.87		
	うち借地面積	0.00		
代表地目(現況地目)	宅地			
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	879,269	—	879,269
	国・県	325,000	—	325,000
	寄付金	—	—	—
	その他	30,000	—	30,000
	市債	183,000	—	183,000
一般財源	341,269	—	341,269	
特記事項	—			



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	13,137	14,620	14,169
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	446	438	942
	収入計(A)	13,583	15,058	15,111
支出(千円)	人件費	21,283	22,533	21,887
	物件費(委託料)	1,715	1,728	1,721
	維持補修費(修繕費)	575	1,856	645
	物件費(光熱水費)	5,720	6,342	4,625
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	29,293	32,459	28,878	
行政コスト(B-A)	15,710	17,401	13,767	
収支前年比	90.28	126.40	70.20	
(参考)指定管理料	21,387	21,387	21,387	
(参考)減価償却費	38,783	38,783	38,783	
利用状況	利用コマ数/年	14,955	15,124	13,777
	利用可能コマ数/年	46,377	46,296	45,157
	施設利用者数/年	103,394	162,174	78,528
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	106,975	898,123	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	屋根防水工事	5,420	2007	建設整備工事(電気設備工事)	39,900
2016	ホール出入口自動ドア設置工事	8,650			
2010	建設事業(建築工事)	330,750			
2008	外構工事	29,243			
2007	改築工事(建築工事)	219,450			
2007	改築工事(機械設備工事)	63,000			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
01-017	北行政センター	地域	0.1
09-006	細江健康センター	地域	0.1
08-053	中央幼稚園	生活	0.1
06-015	細江図書館	地域	0.1
04-024	気賀関所	地域	0.1
04-023	奥浜名湖田園空間博物館総合案内所	地域	0.2
10-014	細江介護予防センター	地域	0.2
15-129	細江中学校	生活	0.4



基本情報	リストNo	03-012	施設コード	00937	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	みをつくし文化センター				施設	浜南区・北行政センター		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
複合施設									—
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		生涯学習の推進を図り、明るい豊かな市民生活の形成に寄与するため(浜松のみをつくし文化センター条例第1条)							
		主な業務内容	貸館業務(ホール、会議室等)、生涯学習関連講座の開催						
		主な利用者	生涯学習関係団体、地域活動団体、学校関係、官公署等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		年々利用団体は増加傾向にある。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化社会に向けて、生涯学習の必要性の高まりとともに需要も伸びると思われる。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	—	
			2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	—	
事業④	—	2023	—	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	指定管理者制度の導入により、年々稼働率が向上してきており、多くの市民に利用されている。利用者数の増加と経年劣化により修理が必要な箇所が出てきている。							
	対応策	指定管理者制度と連絡を密にして早い段階での修繕対策を実施するとともに、計画に従った整備を実施し、施設の長寿命化を図る。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	平成23年度に指定管理者制度を導入し、今後も指定管理による運営を継続していく。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	6,411	7,101	5,618	1人当たりのコスト(円)	152	107	175	
	施設利用率(%)	32.2	32.7	30.5	1開館日当たりのコスト(円)	43,760	48,471	38,348	
	1日当たり利用者(人)	288	452	219	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価									
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)				
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。									

リストNo	03-013	施設コード	00998	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	三ヶ日文化ホール			
所在(町名・番地)	浜名区三ヶ日町三ヶ日500-1			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	浜名区・北行政センター	課長名 堤 信弘	
設置根拠(法)	なし			
条例	浜松市三ヶ日文化ホール条例			
設置目的	市民の文化の振興を図るため(浜松市三ヶ日文化ホール条例第1条)			
主な利用者	生涯学習関係団体、学校関係等			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,845.13	土地面積 3,254.40	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート一部鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1984/4/1		
土地情報	うち所有面積	3,254.40		
	うち借地面積	0.00		
代表地目(現況地目)	宅地			
用途地域	第二種住居地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	441,736	—	441,736
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	129,600	—	129,600
一般財源	312,136	—	312,136	
特記事項	—			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	2,929	1,956	1,909
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	2,929	1,956	1,909
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,265	1,023	1,021
	維持補修費(修繕費)	0	636	968
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,265	1,659	1,989	
行政コスト(B-A)	-1,664	-297	80	
収支前年比	560.27	-371.25	3.52	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	15,792	15,792	15,792	
利用状況	利用コマ数/年	410	238	250
	利用可能コマ数/年	3,021	2,943	2,800
	施設利用者数/年	19,040	12,402	11,616
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	147,694	15,793	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2021	令和3年度浜松市三ヶ日文化ホール舞台照明設備改修工事	13,200			
2017	屋根防水工事	17,419			
2017	音響調整卓更新工事	3,758			
2015	空調熱源機更新工事	29,049			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
01-018	三ヶ日支所	地域	0.1
14-020	北消防署三ヶ日出張所	地域	0.2
18-065	旧三ヶ日保健センター別館	地域	0.2
14-081	三ヶ日第1分団	コミュニティ	0.2
13-055	小深田団地	地域	0.4
10-015	三ヶ日総合福祉センター	地域	0.4
06-014	三ヶ日図書館	地域	0.4
26-019	三ヶ日浄化センター	—	0.4



基本情報	リストNo	03-013	施設コード	00998	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	三ヶ日文化ホール			施設	浜名区・北行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の提供							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		市民の文化の振興を図るため(浜松市三ヶ日文化ホール条例第1条)							
		主な業務内容	貸館						
		主な利用者	生涯学習関係団体、学校関係等						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		本市の文化・生涯学習活動の中心として、社会的ニーズは中長期的にも継続する。						
	特記事項		—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—	
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
事業③		—	2023	—	—	—	—		
			2022	—	—	—	—		
			2021	—	—	—	—		
事業④	—	2023	—	—	—	—			
		2022	—	—	—	—			
		2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	開館から40年以上が経過し、設備全般において老朽化が進んでいる。							
	対応策	施設においては、各種点検結果に基づき、必要な修繕を行い施設の延命化を図っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	○	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	○	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	管理委託などを含め、今後検討を進める。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-902	-161	43	1人当たりのコスト(円)	-87	-24	7
	施設利用率(%)	13.6	8.1	8.9	1開館日当たりのコスト(円)	-4,635	-827	223
	1日当たり利用者(人)	53	35	32	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	管理主体変更	複合化	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努め、大規模な改修が必要となった時点で利用状況を踏まえ、他施設との複合化を検討する。								

リストNo	03-014	施設コード	00252	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	引佐多目的研修センター			
所在(町名・番地)	浜名区引佐町井伊谷248-186			
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	浜名区・北行政センター	課長名 堤 信弘	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市引佐多目的研修センター条例			
設置目的	農村地域における住民の生活改善及びコミュニティ活動を通じて活力ある地域づくりを図るため(浜松市引佐多目的研修センター条例第1条)			
主な利用者	生涯学習関係団体・地域活動団体等、学校関係、官公署等			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~			
管理者名	東海ビル管理(株)			
開館時間	9:00 ~ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,528.09	土地面積 7,188.32	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1985/4/1		
土地情報	うち所有面積	7,188.32		
	うち借地面積	0.00		
代表地目(現況地目)	宅地			
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	395,500	—	395,500
	国・県	147,750	—	147,750
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	247,750	—	247,750	
特記事項	—			



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	4,674	4,318	3,431
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	241	142	447
	収入計(A)	4,915	4,460	3,878
支出(千円)	人件費	13,765	14,296	14,205
	物件費(委託料)	1,470	1,470	814
	維持補修費(修繕費)	4,967	941	454
	物件費(光熱水費)	3,063	3,024	2,192
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	23,265	19,731	17,665	
行政コスト(B-A)	18,350	15,271	13,787	
収支前年比	120.16	110.76	84.32	
(参考)指定管理料	17,792	17,792	17,792	
(参考)減価償却費	4,503	4,503	3,972	
利用状況	利用コマ数/年	6,906	6,146	4,939
	利用可能コマ数/年	35,841	36,658	34,409
	施設利用者数/年	42,975	71,208	20,543
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	175,180	66,279	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	受変電設備改修工事	15,054	2011	ユニバーサルデザイン化整備工事	8,190
2021	ユニバーサルデザイン化整備工事	45,729	2011	屋上防水・屋根改修工事	7,372
2017	外壁改修工事	12,556			
2014	空調熱源設備改修工事	22,275			
2014	舞台吊物機器更新工事	4,860			
2013	空調設備改修工事	39,804			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
06-013	引佐図書館	地域	0.1
01-019	引佐支所	地域	0.1
18-007	引佐文化財収蔵庫	地域	0.1
04-057	浜松市地域遺産センター	地域	0.2
08-019	引佐保育園	生活	0.3
15-066	井伊谷小学校	生活	0.3
14-072	引佐第1分団井伊谷	コミュニティ	0.4
08-048	引佐幼稚園	生活	0.4



基本情報	リストNo	03-014	施設コード	00252	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当		
	施設名	引佐多目的研修センター				施設	浜南区・北行政センター			
	人員数	正規職員(人)	—	金計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		農村地域における住民の生活改善及びコミュニティ活動を通じて活力ある地域づくりを図るため(浜松市引佐多目的研修センター条例第1条)								
		主な業務内容	貸館業務(ホール、会議室)、生涯学習関連講座の開催							
		主な利用者	生涯学習関係団体・地域活動団体等、学校関係、官公署等							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			一定の利用者があり需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			地域の文化事業の拠点施設として、今後もニーズはある。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
	事業②	—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
	事業③	—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
	事業④	—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
—		2021	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建設から35年以上が経過し、施設・設備等の老朽化が目立つ。								
	対応策	計画的に施設整備を進めていく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	○	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	平成28年度から指定管理者制度を導入し、今後も指定管理による運営を継続していく。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	12,008	9,994	9,022	1人当たりのコスト(円)	427	214	671	
	施設利用率(%)	19.3	16.8	14.4	1開館日当たりのコスト(円)	51,114	42,538	38,404	
	1日当たり利用者(人)	120	198	57	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>				
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。更新時には利用状況を踏まえ、他施設との統廃合や複合化を検討する。									

リストNo	03-015	施設コード	00106
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	なゆた・浜北(浜名区役所部分以外)		
所在(町名・番地)	浜名区貴布祢3000		
利用者の圏域別分類等	地域	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一
	施設	浜名区・まちづくり推進課	課長名 山本 佳弘
設置根拠(法)	都市再開発法		
条例	浜松市なゆた・浜北条例		
設置目的	生涯学習の推進と地域の活性化に資するため(浜松市なゆた浜北条例第1条)		
主な利用者	地域住民、サークル活動利用者等		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~		
管理者名	浜松市文化振興財団・なゆた浜北共同事業体		
開館時間	9:00 ~ 21:30		
建物情報	総延床面積	11,908.04	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	3	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	2001/3/10	
経過年数(主要建物)	23	うち所有面積 0.00	
用途地域	商業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	-	-
財源	国・県	-	-
	寄付金	-	-
	その他	-	-
	市債	-	-
	一般財源	-	-
特記事項	(指定管理料 内訳) なゆた・浜北15,312,409円 浜北図書館99,030,000円		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	24,416	22,430	18,521
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	3,617	2,977	1,905
	収入計(A)	28,033	25,407	20,426
	支出(千円)	人件費	68,396	64,792
物件費(委託料)		17,673	18,363	17,582
維持補修費(修繕費)		5,321	1,568	8,855
物件費(光熱水費)		13,258	20,158	13,836
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	104,648	104,881	105,543	
行政コスト(B-A)	76,615	79,474	85,117	
収支前年比	96.40	93.37	102.21	
(参考)指定管理料	114,342	114,342	111,135	
(参考)減価償却費	44,939	44,939	44,939	
利用状況	利用コマ数/年	9,278	8,599	8,287
	利用可能コマ数/年	16,464	16,597	16,327
	施設利用者数/年	397,335	396,742	378,386
	開館日数/年	347	347	347
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	311,240	323,074	340,215
	蔵書数	251,411	245,127	242,475
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	1,213,347	-	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	令和4年度 舞台音響設備更新工事	4,541			
2018	地下駐車場発券機更新工事	3,240			
2014	舞台機構修繕工事	3,240			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-005	浜北文化センター	市域	0.3
03-054	浜名協働センター	生活	1.2
03-053	北浜南部協働センター	生活	1.2
同分類			
その他の分類			
01-021	浜名区役所	地域	0.0
18-008	浜北防災センター	地域	0.6
14-023	浜北消防署	地域	0.6
05-020	浜北体育館	地域	0.7
14-085	浜名分団小松	コミュニティ	0.8
15-081	北浜小学校	生活	0.8
15-139	北浜中学校	生活	0.9
14-150	北浜分団・北浜小学校放課後児童会複合施設(分団庁舎)	コミュニティ	0.9



基本情報	リストNo	03-015	施設コード	00106	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当		
	施設名	なゆた・浜北(浜名区役所部分以外)				施設	浜名区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	浜北図書館								
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		生涯学習の推進と地域の活性化に資するため(浜松市なゆた浜北条例第1条)								
		主な業務内容	音楽を中心とした発表会など地域文化振興に資する事業							
		主な利用者	地域住民、サークル活動利用者等							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	浜北区役所移転に伴う改修工事のため、H28年度より貸出範囲が縮小。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	施設利用ニーズは引続き高まる状況と見込むが、時代に合った機器等の更新が必要となる。							
		特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—		
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業②		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業③		—	2023	—	—	—				
			2022	—	—	—				
			2021	—	—	—				
事業④	—	2023	—	—	—					
		2022	—	—	—					
		2021	—	—	—					
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築後20年以上が経過し、一部設備等に修繕が必要となっている								
	対応策	施設維持のため、緊急性の高いものから計画的に修繕を行う。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	平成31年度から、浜北文化センター・市民ミュージアム浜北と併せて指定管理施設となったため、今後も指定管理による運営を継続していく。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	6,434	6,674	7,148	1人当たりのコスト(円)	193	200	225
	施設利用率(%)	56.4	51.8	50.8	1開館日当たりのコスト(円)	220,793	229,032	245,294
	1日当たり利用者(人)	1,145	1,143	1,090	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	123.8	131.8	140.3	1貸出冊当たりのコスト(円)	246	246	250
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
民間との複合施設であることから当面適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2024

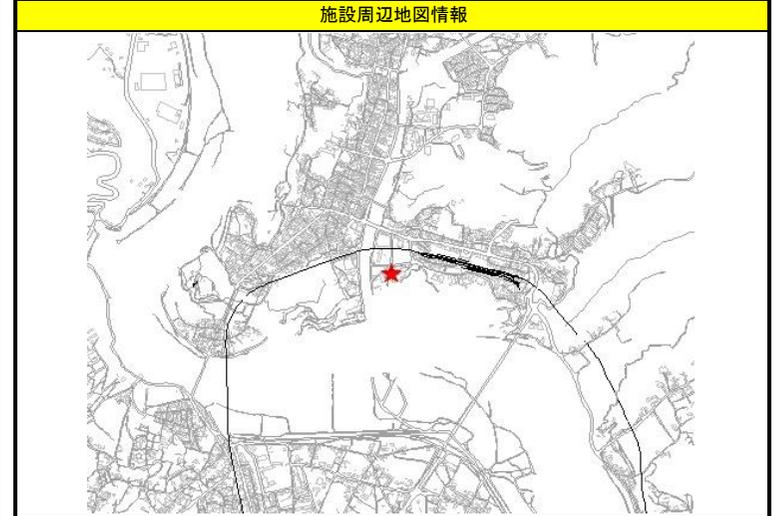
リストNo	03-016	施設コード	01989				
利用用途別分類(施設分類)	集会施設						
施設名	天竜壬生ホール						
所在(町名・番地)	天竜区二俣町二俣20-2						
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域					
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設				
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一				
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 佐々木 豊				
設置根拠(法)	なし						
条例	浜松市天竜壬生ホール条例						
設置目的	生涯学習の推進及び芸術文化の振興を図るため(浜松市天竜壬生ホール条例第1条)						
主な利用者	小学生から一般						
運営形態	指定管理者						
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~						
管理者名	(公財)浜松市文化振興財団						
開館時間	9:00 ~ 21:30						
建物情報	総延床面積	4,371.64	土地面積	16,396.62			
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造			土地面積	15,258.65	
	地上階数(主要建物)	5					うち所有面積
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新					うち借地面積
	耐震工事(主要建物)	-				代表地目(現況地目)	宅地
	建築年月日(主要建物)	2002/8/31					
	経過年数(主要建物)	21					
用途地域	近隣商業地域						
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計				
財源	設置事業費	2,489,343	575,879	3,065,222			
	国・県	1,800	—	1,800			
	寄付金	25,125	—	25,125			
	その他	—	—	—			
	市債	1,950,100	—	1,950,100			
一般財源	512,318	575,879	1,088,197				
特記事項	—						



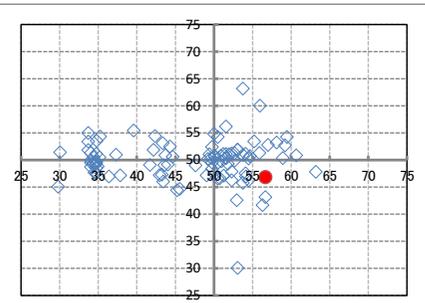
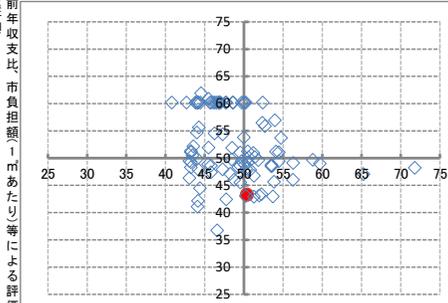
項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	9,029	9,004	7,381
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	7,186	4,908	3,496
	収入計(A)	16,215	13,912	10,877
支出(千円)	人件費	24,368	19,668	19,848
	物件費(委託料)	22,208	21,958	20,483
	維持補修費(修繕費)	9,146	4,022	5,482
	物件費(光熱水費)	13,538	12,990	9,198
	物件費(借地料)	506	506	533
支出計(B)	69,766	59,144	55,544	
行政コスト(B-A)	53,551	45,232	44,667	
収支前年比	118.39	101.26	104.40	
(参考)指定管理料	48,500	48,500	44,786	
(参考)減価償却費	64,242	64,242	64,242	
利用状況	利用コマ数/年	7,099	7,035	5,868
	利用可能コマ数/年	31,246	29,533	29,591
	施設利用者数/年	77,813	67,791	48,635
	開館日数/年	348	347	348
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	520,473	1,220,601	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	舞台装置更新工事	19,525	2018	監視カメラ設備機器更新工事	15,757
2022	特定小電力無線機器更新工事	3,938	2013	舞台吊物ワイヤロープ取替工事	5,303
2021	令和3年度 浜松市天竜壬生ホールホワイエ空間設備更新工事	17,050	2011	舞台吊物昇降装置引動機構シフ及びワイヤロープ取替工事	8,295
2021	令和3年度 浜松市天竜壬生ホールホール舞台設備シフ取替工事	4,510			
2020	令和2年度 浜松市天竜壬生ホールLPガスバルク貯槽更新工事	3,630			
2018	吊り天井落下防止対策工事	35,046			

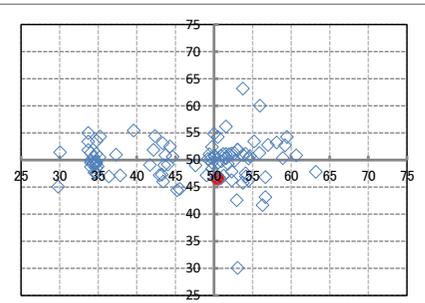
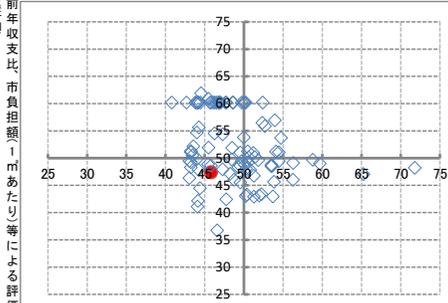
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-058	二俣ふれあいセンター	生活	0.6
14-094	天竜第1分団城下	コミュニティ	0.6
07-067	ふたまた児童クラブ	生活	0.7
15-096	二俣小学校	生活	0.7
04-012	秋野不矩美術館	市域	0.7
26-033	阿蔵中継ポンプ場	—	0.8
04-044	田代家住宅	文化財	0.8
04-047	二俣歴史散策路	小規模等	0.8
04-042	ものづくり伝承館	文化財	0.8



基本情報	リストNo	03-016	施設コード	01989	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	天竜壬生ホール			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	—	金計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
施設運営分析	複合施設	—							
	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		生涯学習の推進及び芸術文化の振興を図るため(浜松市天竜壬生ホール条例第1条)							
		主な業務内容	芸術文化公演、講演会、展示会、研修会、講座等の開催。各種団体、関係機関等との連絡調整。集会、展示等のための施設提供。						
		主な利用者	小学生から一般						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり需要は確保されている。						
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も一定の利用が予想される。						
		特記事項	中山間地域に所在						
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
	事業①	芸術普及事業(講座等の開催機会を提供)	2023	①~③合計10,777	不定数	参加者数			
			2022	①~③合計10,835	不定数	3,427			
			2021	①~③合計15,301	不定数	3,471			
	事業②	芸術普及事業(地域に根ざした市民参加型発表会の提供)	2023	—	不定数	2,721			
			2022	—	不定数	2,507			
			2021	—	不定数	1,984			
	事業③	文化振興事業	2023	—	不定数	706			
			2022	—	不定数	523			
			2021	—	不定数	240			
事業④	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成14年に建設され、舞台装置等施設設備の経年劣化および地盤沈下等により修繕を必要とする箇所が増加している。							
	対応策	各種点検結果に基づき、計画的に長寿命化できるように修繕等を実施していく。また、技術スタッフを常駐させ、施設の維持管理や運営にあたることで、利用者の安全確保と利用しやすい施設運営を心がけていく。							
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	○	将来的に他の施設機能との複合化を検討していく。					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	平成29年度より指定管理制度を導入								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	12,250	10,347	10,217	1人当たりのコスト(円)	688	667	918
	施設利用率(%)	22.7	23.8	19.8	1開館日当たりのコスト(円)	153,882	130,352	128,353
	1日当たり利用者(人)	224	195	140	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

基本情報	リストNo	03-017	施設コード	01220	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	春野文化センター				施設	天竜区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	2	金計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	1		
複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	生涯学習を享受できる機会の充実							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		生涯学習の推進、芸術、文化及び産業の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市春野文化センター条例第1条)							
		主な業務内容	文化・芸術イベントの開催、貸館利用						
		主な利用者	各種文化団体、カルチャー講座参加者、自主事業入場者						
		設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		減少はしているが、一定数の利用が確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		人口減少等により利用者の減少が予想される。						
	特記事項		中山間地域に所在						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
事業①		市民講座 己書教室、はじめてのスマホ講座、はじめての太極拳、暮らしの生け花教室、観葉植物寄せ植え講座、ストーンペインティング、つるでかごづくり教室の実施	2023	119	89	219			
			2022	140	142	139			
			2021	147	216	133			
事業②		地域ふれあいフェスタ(春野文化センターまつり) R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	2023	90	不特定	606			
			2022	90	不定数	414			
			2021	90	—	—			
事業③		その他自主事業	2023	—	—	—			
			2022	—	不特定	不定数			
			2021	—	不定数	不定数			
事業④	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築後35年以上が経過し、施設の老朽化及び施設内、外構等に一部沈下があり、修繕が必要となっている。							
	対応策	日常のメンテナンスを丁寧に行うとともに、必要な修繕を行い施設の延命化を図っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	○	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	○	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	NPO法人春野のえがおへ一部管理を委託している。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	17,705	17,845	18,563	1人当たりのコスト(円)	1,830	4,353	6,270	
	施設利用率(%)	13.6	12.0	11.3	1開館日当たりのコスト(円)	101,689	103,866	106,970	
	1日当たり利用者(人)	56	24	17	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考指標									
	<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>							
	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	複合化	管理主体変更	—	—	—	—	
個別方針	2民活導入	(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—		
	<p>当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点において、人口減少等による利用状況の変化があった場合は、その状況に応じてさらなる複合化や規模適正化など検討する。</p>								

リストNo	03-018	施設コード	01505	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	水窪文化会館			
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家3274-1			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課 生涯学習担当	課長名 加藤 元一	
	施設	天竜区・まちづくり推進課	課長名 佐々木 豊	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市水窪文化会館条例			
設置目的	生涯学習の推進、芸術、文化及び産業の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市水窪文化会館条例第1条)			
主な利用者	各種文化団体、カルチャー講座参加者、自主事業入場者			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	9:00～21:30			
建物情報	総延床面積	1,985.61	土地面積 2,966.85	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1996/3/31		
土地情報	うち所有面積	454.00		
	うち借地面積	2,512.85		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	817,166	—	817,166
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	817,166	—	—	817,166
特記事項	—			



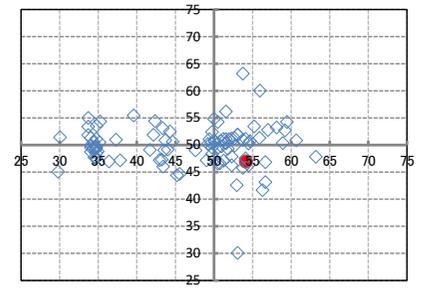
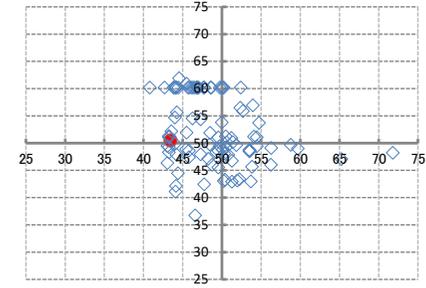
項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	211	342	287
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	104	68	108
	収入計(A)	315	410	395
支出(千円)	人件費	16,800	17,574	16,800
	物件費(委託料)	3,590	3,581	3,722
	維持補修費(修繕費)	629	2,725	3,155
	物件費(光熱水費)	4,726	4,087	3,673
	物件費(借地料)	816	816	816
支出計(B)	26,561	28,783	28,166	
行政コスト(B-A)	26,246	28,373	27,771	
収支前年比	92.50	102.17	99.62	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	20,738	20,738	20,738	
利用状況	利用コマ数/年	712	525	596
	利用可能コマ数/年	9,720	9,693	9,837
	施設利用者数/年	6,578	6,509	5,573
	開館日数/年	360	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	2,408	2,383	2,577
	蔵書数	16,751	16,197	15,921
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	9	247,106	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松市水窪文化会館外壁及び屋根改修工事	49,500			
2018	吊り天井落下防止対策工事	43,933			
2015	中央監視装置更新工事	2,592			
2008	下水道切替工事	3,498			

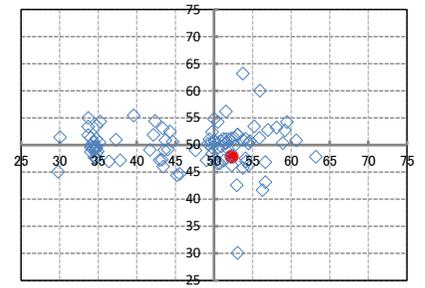
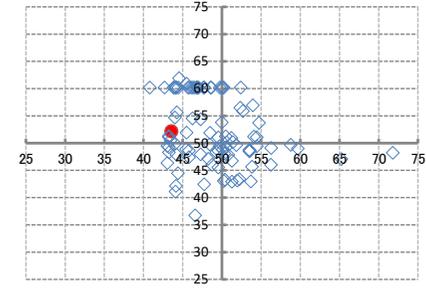
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
01-028	水窪支所	地域	0.1
04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.1
05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等	0.4
14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ	0.4
25-021	旧簡易水道新道	—	0.4
02-010	神原市有住宅	地域	0.5
02-004	神原下教職員住宅	地域	0.6
02-005	神原上教職員住宅	地域	0.6



基本情報	リストNo	03-018	施設コード	01505	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	水窪文化会館			施設	天竜区・まちづくり推進課			
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	—		
複合施設		水窪図書館							
関連政策名		生涯学習を享受できる機会の充実							
施設運営分析	設置目的(再掲)								
	生涯学習の推進、芸術、文化及び産業の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市水窪文化会館条例第1条)								
	主な業務内容		文化・芸術イベントの開催、貸館利用						
	主な利用者		各種文化団体、カルチャー講座参加者、自主事業入場者						
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		減少はしているが、一定数の利用が確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		人口減少等により利用者の減少が予想される。						
	特記事項		中山間地域に所在						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	子ども講座、生きがいつくり講座、学習成果活用事業、共催事業、地域ふれあいイベント、貸館等			2023	—	3,717	3,717
2022						—	3,276	3,276	
2021						—	2,029	2,029	
事業②		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④	—			2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	平成7年度建設、平成8年度の閉館後25年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる。							
	対応策	日常のメンテナンスを丁寧に行うことにより施設の延命化を図っていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	○	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
統廃合		—	—	—	—				
複合化	—	—	○	—					
広域化	—	—	—	—					
民活導入	地域活性化団体よかつらみさくぼへ一部管理を委託している。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	13,218	14,289	13,986	1人当たりのコスト(円)	3,990	4,359	4,983	
	施設利用率(%)	7.3	5.4	6.1	1閉館日当たりのコスト(円)	72,906	79,033	77,357	
	1日当たり利用者(人)	18	18	16	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	14.4	14.7	16.2	1貸出冊当たりのコスト(円)	10,900	11,906	10,776	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>					<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類毎の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化が進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	管理主体変更	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—		
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点において、人口減少等による利用状況の変化があった場合は、その状況に応じてさらなる複合化や規模適正化など検討する。									

基本情報	リストNo	03-019	施設コード	02802	所管課	本庁	市民部創造都市・文化振興課	生涯学習担当	
	施設名	龍山森林文化会館				施設	天竜区・まちづくり推進課		
	人員数	正規職員(人)	1	会計年度任用職員(人)	—		再任用(人)	1	
複合施設		龍山図書館							
関連政策名		生涯学習を享受できる機会の充実							
施設運営分析	設置目的(再掲)								
	市民の芸術及び文化の振興並びに福祉の増進を図るため(浜松市龍山森林文化会館条例第1条)。								
	主な業務内容	貸し館業務、自主事業(講座・展示等の企画、開催)							
	主な利用者	文化活動団体、社会福祉団体							
	設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		定期的な利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		人口減少等により利用者の減少が予想される。						
	特記事項		中山間地域に所在						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
		事業①	龍山文化講演会等の開催	2023	655	—	参加者数		
2022				655	—	171			
2021				583	—	140			
事業②		龍山ふれあい文化祭開催	2023	200	—	180			
			2022	200	—	184			
			2021	200	—	108			
事業③		生涯学習教室の開催	2023	51	—	53			
			2022	79	—	56			
			2021	86	—	68			
事業④	—	2023	—	—	—				
		2022	—	—	—				
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	本施設は平成2年に開館しており、設備の全般において老朽化が進んできている。							
	対応策	施設においては中長期修繕計画や各種点結果に基づき長寿命化できるよう修繕等を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	○	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	○	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	NPO法人ほっと龍山へ一部管理を委託している。また、講座開催事業等についても協力を得て実施している。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	10,379	11,547	10,888	1人当たりのコスト(円)	3,263	3,471	3,737	
	施設利用率(%)	3.4	3.5	2.9	1開館日当たりのコスト(円)	55,470	59,993	58,610	
	1日当たり利用者(人)	17	17	16	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	4.6	4.6	3.3	1貸出冊当たりのコスト(円)	42,989	47,828	59,252	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性 利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。							
個別方針	1資産の見直し	複合化	管理主体変更	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	要検討	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	—	
当面適切な維持管理に努める。大規模な改修等が必要となった時点において、人口減少等による利用状況の変化があった場合は、さらなる複合化や規模適正化など検討する。									

リストNo	03-020	施設コード	01204
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	春野ふれあい公園集会所		
所在(町名・番地)	天竜区春野町領家222-1		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	公園
所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁
	施設	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市公園条例		
設置目的	市民の福祉の増進並びに体育及び生活文化の向上資すること(公園条例第1条)		
主な利用者	一般		
運営形態	指定管理者		
指定管理または包括管理委託等の期間	2024/04/01 ~		
管理者名	(一財)浜松公園緑地協会		
開館時間	9:00 ~ 21:00		
建物情報	総延床面積	1,030.24	土地面積 43,534.70
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1993/3/20	
経過年数(主要建物)	31	うち所有面積 43,534.70	うち借地面積 0.00
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	1,720	1,850	1,876
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	610	591	617
	収入計(A)	2,330	2,441	2,493
支出(千円)	人件費	13,678	12,617	12,337
	物件費(委託料)	213	0	995
	維持補修費(修繕費)	864	1,246	1,533
	物件費(光熱水費)	1,798	2,178	2,015
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	16,553	16,041	16,880	
行政コスト(B-A)	14,223	13,600	14,387	
収支前年比	104.58	94.53	95.16	
(参考)指定管理料	18,252	18,252	18,242	
(参考)減価償却費	140	140	525	
利用状況	利用コマ数/年	201	207	194
	利用可能コマ数/年	4,020	4,020	4,020
	施設利用者数/年	6,733	490	455
	開館日数/年	360	347	347
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	251,775	183	—	

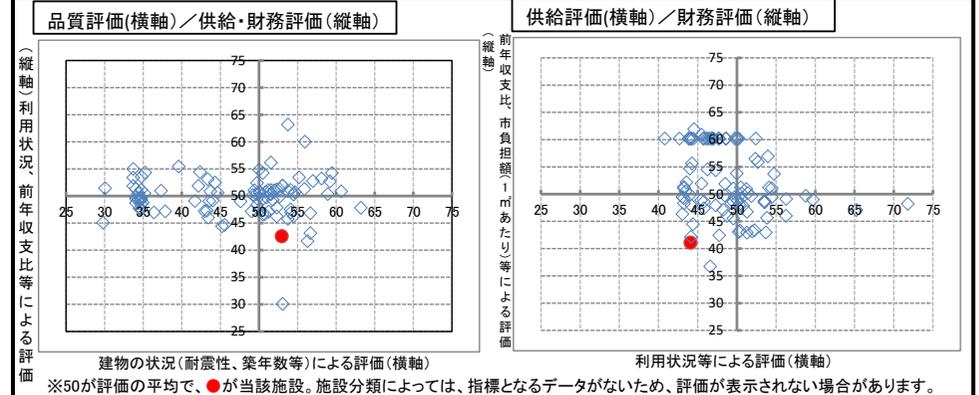
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2019	浜松市春野ふれあい公園(ふれあい会館)他1件屋根改修工事	6,757			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	25-028	旧若身簡易水道	—	0.4
	14-121	春野第1分団犬居	コミュニティ	0.5
	14-123	春野第1分団西領家	コミュニティ	0.6
	04-051	秋葉山表参道あずまや	小規模等	0.8
	02-015	犬居地区教職員住宅	地域	0.8
	18-059	旧南中学校(春野)	地域	0.8
	13-073	若身団地	地域	1.0
	15-091	犬居小学校	生活	1.0



基本情報	リストNo	03-020	施設コード	01204	所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所
	施設名	春野ふれあい公園集会所				施設	都市整備部公園管理事務所
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	都市公園・緑地の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市民の福祉の増進並びに体育及び生活文化の向上資すること(公園条例第1条)					
		主な業務内容	貸出、貸館(研修室等)業務。自主事業				
		主な利用者	一般				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		利用者の多くが一般利用者であり、ニーズに大きな変化はないと考える。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業④	—	2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設・設備の老朽化により、故障の発生や修繕が必要な箇所が多くなってきている。					
	対応策	施設・設備の老朽化により、故障の発生や修繕が必要な箇所が多くなってきているが、市民サービスの低下や貸し館業務の支障にならないよう計画的に改修工事や修繕を行う必要がある。可能な限り指定管理者により修繕・補修等を行っているが、引き続き、民間企業のノウハウ等を最大限に活用し、質の高い公園の提供により、利用者が気持ちよく施設を利用できるようにして、公園利用者の拡大や費用対効果の向上に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
		複合化	—	—	—	—	
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	指定管理者制度導入施設であり、ニーズにあった自主事業の展開など、公園としての公用発揮、有効活用の推進に努める。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	13,806	13,201	13,965	1人当たりのコスト(円)	2,112	27,755	31,620
	施設利用率(%)	5.0	5.1	4.8	1開館日当たりのコスト(円)	39,508	39,193	41,461
	1日当たり利用者(人)	19	1	1	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



利用者の圏域毎の方向性

利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他
当面適切な維持管理に努める。更新時には利用状況を踏まえ、統廃合も検討する。						

リストNo	03-021	施設コード	02865	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	和地山公園集会所			
所在(町名・番地)	中央区和地山三丁目2-8			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	公園	
所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁	
	施設	都市整備部公園管理事務所	課長名 高林 繁	
設置根拠(法)	都市公園法			
条例	浜松市都市公園条例			
設置目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)			
主な利用者	一般			
運営形態	指定管理者			
指定管理または包括管理委託等の期間	2020/04/01 ~			
管理者名	ビル保養・公園緑地協会グループ			
開館時間	9:00 ~ 21:00			
建物情報	総延床面積	548.21	土地面積 87,471.53	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	2016/11/28		
	経過年数(主要建物)	7		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	-	-	-
	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
一般財源	-	-	-	
特記事項				



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	7,728	7,538	7,317
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2,044	1,738	1,622
	収入計(A)	9,772	9,276	8,939
	支出(千円)	人件費	24,255	22,438
物件費(委託料)		882	409	544
維持補修費(修繕費)		1,620	9,288	5,254
物件費(光熱水費)		2,490	2,736	0
物件費(借地料)		0	0	0
支出計(B)	29,247	34,871	29,239	
行政コスト(B-A)	19,475	25,595	20,300	
収支前年比	76.09	126.08	101.05	
(参考)指定管理料	25,047	25,076	25,115	
(参考)減価償却費	3,354	3,354	3,354	
利用状況	利用コマ数/年	9,234	9,543	8,743
	利用可能コマ数/年	17,232	17,232	17,232
	施設利用者数/年	87,296	30,049	30,683
	開館日数/年	360	359	359
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	-	-	-
	全戸数	-	-	-
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,449,505	73,569	-	

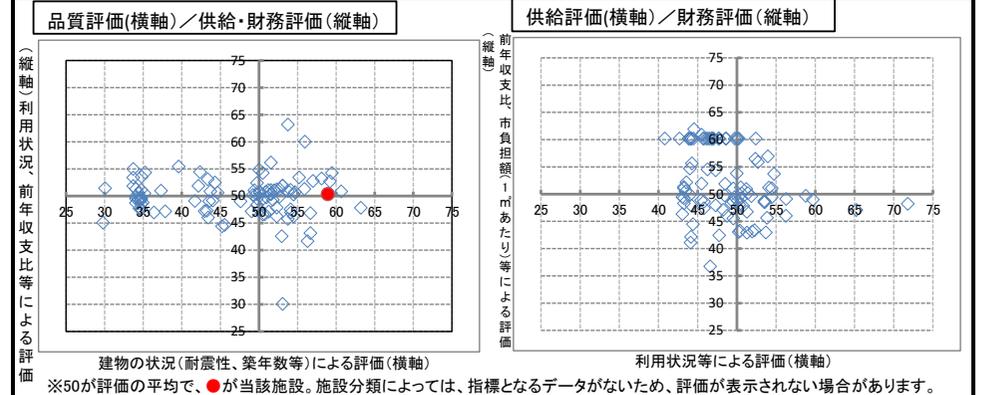
主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-024	高台協働センター	生活	0.7
03-072	馬生会館	コミュニティ	0.7
03-081	文丘集会所	コミュニティ	0.7
03-078	城北会館	コミュニティ	0.8
03-074	和合会館	コミュニティ	1.1
03-006	勤労会館(Uホール)	地域	1.4
03-023	富塚協働センター	生活	1.5
03-070	幸町会館	コミュニティ	1.5
06-002	城北図書館	市域	0.1
13-017	和合(馬生)団地	地域	0.4
07-010	城北第2放課後児童会	生活	0.4
15-018	城北小学校	生活	0.4
15-108	北部中学校	生活	0.5
13-009	住吉二丁目団地	地域	0.5
01-007	計量検査所	市域	0.8
21-001	浜松斎場	地域	0.8



基本情報	リストNo	03-021	施設コード	02865	所管課	本庁	都市整備部公園管理事務所
	施設名	和地山公園集会所			施設	都市整備部公園管理事務所	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	都市公園・緑地の整備					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること(都市公園法第1条)					
		主な業務内容	貸館(ホール・会議室)業務。自主事業				
		主な利用者	一般				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用があり、需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	利用者の多くが一般利用者であり、ニーズに大きな変化はないと考える。				
		特記事項	平成28年度に建替え				
	主な事業	事業①	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況	
					のべ募集人員	参加者数	
事業②		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	特になし					
	対応策	平成28年度に集会所の建替工事を実施。引き続き、民間企業のノウハウ等を最大限に活用し、質の高い公園の提供により、利用者が気持ちよく施設を利用できるようにして、公園利用者の拡大や費用対効果の向上に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	指定管理者制度導入施設であり、ニーズにあった自主事業の展開など、公園としての公用発揮、有効活用の推進に努める。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	35,525	46,688	37,030	1人当たりのコスト(円)	223	852	662
	施設利用率(%)	53.6	55.4	50.7	1開館日当たりのコスト(円)	54,097	71,295	56,546
	1日当たり利用者(人)	242	84	85	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点的施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針	1資産の見直し	複合化	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他

平成28年度改築実施。当面適切な維持管理に努める。

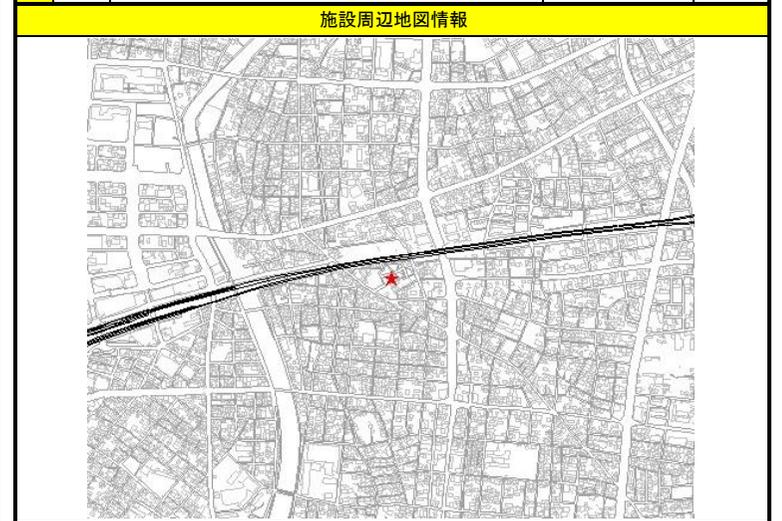
リストNo	03-022	施設コード	04490	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	東部協働センター			
所在(町名・番地)	中央区相生町23-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 嶋津 裕亮	
	施設	中央区・まちづくり推進課	課長名 宮崎 幹啓	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びびふれあいセンター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,342.24	土地面積 2,905.52	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	2014/3/11		
経過年数(主要建物)	10	うち所有面積 2,730.74	うち借地面積 174.78	
用途地域	近隣商業地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	286,705	—	286,705
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	286,705	—	—	286,705
特記事項	—			



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	2,662	2,665	2,502
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	214	363	451
	収入計(A)	2,876	3,028	2,953
	支出(千円)	28,000	42,000	42,000
支出(千円)	人件費	28,000	42,000	42,000
	物件費(委託料)	1,661	1,317	1,791
	維持補修費(修繕費)	622	692	1,070
	物件費(光熱水費)	2,182	2,702	2,273
物件費(借地料)	213	213	213	
支出計(B)	32,678	46,924	47,347	
行政コスト(B-A)	29,802	43,896	44,394	
収支前年比	67.89	98.88	98.16	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	6,432	6,432	6,432	
利用状況	利用コマ数/年	11,811	11,768	6,204
	利用可能コマ数/年	29,488	28,818	27,940
	施設利用者数/年	40,651	38,710	36,763
	開館日数/年	360	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	366
	蔵書数	—	—	195
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	203,004	225,354	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2013	改築工事(建築工事)	290,863			
2013	改築工事(機械設備工事)	62,824			
2013	改築工事(電気設備工事)	33,218			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-077	江東会館	コミュニティ	0.6
03-003	勤労青少年ホーム(アイミティ浜松)	市域	1.0
03-001	アクティビティ浜松Aゾーン(大ホール・中ホール・コンgresセンター)	広域	1.2
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.3
03-031	蒲協働センター	生活	1.3
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.4
03-029	南部協働センター	生活	1.8
14-007	中消防署相生出張所・浜松第7分団	地域	0.3
26-036	木戸雨水ポンプ場	—	0.4
13-022	富吉団地改良住宅	地域	0.5
18-002	北寺島倉庫	地域	0.6
08-009	なのはな保育園	生活	0.7
14-033	浜松第5分団	コミュニティ	0.7
15-022	相生小学校	生活	0.7
11-003	子育て情報センター	市域	0.7



基本情報	リストNo	03-022	施設コード	04490	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	東部協働センター				施設	中央区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	5	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すとされる。				
	特記事項		生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		地域ふれあい事業	2023	762	—	2,157	
			2022	715	—	1,700	
			2021	440	—	700	
事業②		地域文化セミナー	2023	156	128	123	
			2022	154	197	171	
			2021	129	155	135	
事業③		子ども講座	2023	95	189	136	
			2022	88	166	170	
			2021	57	127	100	
事業④	アクティブ・シニア講座	2023	77	420	308		
		2022	79	420	247		
		2021	38	288	163		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課	課題	利用団体数に対し駐車場が手狭なため、満車のため利用者が駐車できない場合がある。附設体育館が約3km離れた飯田町にあるため、体育館利用者が勘違いをして相生町の東部協働センターへ来館される事例が散見される。					
	対応策	施設の予約状況を踏まえ、利用団体への駐車場利用台数確認や乗り合わせをお願いしている。施設情報を掲載している冊子やホームページに、附設体育館の住所を掲載して注意喚起を行っている。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	22,203	32,704	33,075	1人当たりのコスト(円)	733	1,134	1,208
	施設利用率(%)	40.1	40.8	22.2	1開館日当たりのコスト(円)	82,783	122,273	123,660
	1日当たり利用者(人)	113	108	102	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	187.7	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	121,295
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-023	施設コード	04492
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	富塚協働センター		
所在(町名・番地)	中央区富塚町1740-1		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 嶋津 裕亮
	施設	中央区・まちづくり推進課	課長名 宮崎 幹啓
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例		
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、自治会、地区社会協議会、小学生、中学生、高校生、その他地域住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:30 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	2,184.00	土地面積 6,060.87
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1983/3/1	
経過年数(主要建物)	41	代表地目(現況地目)	官公庁用地
用途地域	第一種低層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	356,100	—	356,100
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	356,100	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	3,651	3,685	3,825
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	307	506	695
	収入計(A)	3,958	4,191	4,520
	支出(千円)	人件費	23,200	34,400
物件費(委託料)		2,332	1,657	1,696
維持補修費(修繕費)		978	1,369	6,835
物件費(光熱水費)		2,525	4,349	3,818
物件費(借地料)		659	1,200	1,200
支出計(B)	29,694	42,975	47,949	
行政コスト(B-A)	25,736	38,784	43,429	
収支前年比	66.36	89.30	109.57	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	17,650	17,650	17,650	
利用状況	利用コマ数/年	17,382	15,893	14,896
	利用可能コマ数/年	41,091	38,151	39,451
	施設利用者数/年	69,139	71,186	85,121
	開館日数/年	—	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	247
	蔵書数	—	—	3,459
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	309,385	98,438	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	空調設備改修工事	44,785	2015	空調設備修繕工事	5,206
2019	浜松市富塚協働センター受電設備改修工事	11,000	2011	ユニバーサルデザイン化整備工事	4,223
2017	ユニバーサルデザイン化整備工事	51,933	2009	附設体育館屋根防水工事	7,856
2016	外壁改修工事	14,330	2008	冷温水発生器改修工事(機械設備工事)	6,720
2015	附設体育館(体育及び児童福祉施設改修工事(電気設備工事)(施設修繕工事-工事2))	14,637			
2015	附設体育館(体育及び児童福祉施設改修工事(建築工事)(富塚協働センター-工事2))	33,993			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-073	富塚西会館	コミュニティ	0.7
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.0
03-078	城北会館	コミュニティ	1.0
03-082	富塚椎ノ木谷特別緑地保全地区	コミュニティ	1.4
03-021	和地山公園集会所	生活	1.5
03-074	和合会館	コミュニティ	1.5
03-072	馬生会館	コミュニティ	1.5
03-025	西部協働センター	生活	1.5
14-006	中消防署富塚出張所・浜松第8分団	地域	0.1
07-068	とみつか放課後児童会	生活	0.2
15-107	富塚中学校	生活	0.2
15-025	富塚小学校	生活	0.2
15-026	富塚西小学校	生活	0.6
07-081	こりす・こりす第2放課後児童会	生活	0.6
08-003	権現谷保育園	生活	0.8
22-001	浜松医療センター	広域	1.0



基本情報	リストNo	03-023	施設コード	04492	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	
	施設名	富塚協働センター				施設	中央区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	3	会計年度任用職員(人)	6	再任用(人)	—	
複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。						
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。					
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、自治会、地区社会協議会、小学生、中学生、高校生、その他地域住民					
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すとされる。					
	特記事項		生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		浜松ヒューマンセミナー、地域文化セミナー、アクティブ・シニア講座、子ども講座	2023	434	1,023	のべ募集人員	参加者数	
			2022	394	1,187	—	868	
			2021	380	973	—	708	
事業②		地域ふれあいフェスタ事業	2023	3,939	—	—	9,515	
			2022	3,013	—	—	7,771	
			2021	1,039	—	—	2,612	
事業③		学習成果活用事業	2023	121	92	—	68	
			2022	114	120	—	86	
事業④		中学生ボランティア、コミュニティ・アシスタント(高校生以上のボランティア)の活動状況	2023	—	—	—	287	
	2022		—	—	—	190		
2021	—	—	—	—	111			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・築30年経過の老朽施設のため、各所に不具合が発生している。(電気設備(取替時期を超えている)、建具や備品、器具の故障及び消耗、時代のニーズに合致した備品類の調達)。・実質の利用者数に比べ、駐車可能スペースが確保できない。						
	対応策	緊急性の高い箇所から順次、修繕や交換を行う。駐車場については、転回スペースに縦列駐車するなどに対応。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	11,784	17,758	19,885	1人当たりのコスト(円)	372	545	510
	施設利用率(%)	42.3	41.7	37.8	1開館日当たりのコスト(円)	—	108,033	120,972
	1日当たり利用者(人)	—	198	237	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	7.1	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	175,826
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)			供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間/ウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-024	施設コード	04493	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	高台協働センター			
所在(町名・番地)	中央区和合町58-30			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 嶋津 裕亮	
	施設	中央区・まちづくり推進課	課長名 宮崎 幹啓	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,957.41	土地面積 5,069.82	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1988/3/20		
土地情報	うち所有面積	5,069.82		
	うち借地面積	0.00		
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	453,716	—	453,716
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	453,716	—	453,716	
特記事項	—			



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	3,664	3,847	3,335
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	377	726	719
	収入計(A)	4,041	4,573	4,054
	支出(千円)	22,400	37,200	37,200
支出(千円)	人件費	2,707	2,899	2,758
	維持補修費(修繕費)	1,642	2,148	5,808
	物件費(光熱水費)	22,238	2,621	2,167
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	48,987	44,868	47,933
行政コスト(B-A)	44,946	40,295	43,879	
収支前年比	111.54	91.83	109.82	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	19,117	19,135	19,139	
利用状況	利用コマ数/年	13,691	12,976	11,682
	利用可能コマ数/年	37,305	38,200	36,491
	施設利用者数/年	57,517	47	66,912
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	256,851	180,740	—	

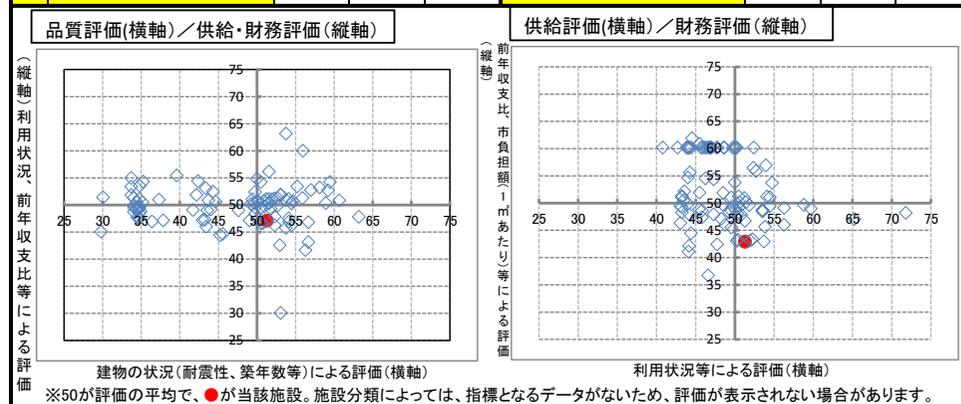
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	外壁改修工事	18,817	2014	空調設備改修工事	28,620
2020	高台協働センター外壁・屋根改修及び附設体育館取替工事	4,457	2010	体育館天井張替え及び屋根等改修工事	7,998
2018	体育館排煙窓開閉装置改修工事	3,748			
2018	園地補修工事	2,236			
2018	ユニバーサルデザイン化整備工事	49,356			
2017	屋根防水工事	5,577			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-072	馬生会館	コミュニティ	0.4
03-021	和地山公園集会所	生活	0.7
03-074	和合会館	コミュニティ	0.8
03-070	幸町会館	コミュニティ	0.9
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)	地域	1.0
03-075	和泉会館	コミュニティ	1.0
03-081	文丘集会所	コミュニティ	1.4
03-078	城北会館	コミュニティ	1.5
22-002	浜松市リハビリテーション病院	広域	0.2
15-020	泉小学校	生活	0.4
07-077	たかだい放課後児童会	生活	0.4
14-008	中消防署高台出張所	地域	0.4
13-009	住吉二丁目団地	地域	0.5
06-002	城北図書館	市域	0.6
13-017	和合(馬生)団地	地域	0.7
25-001	住吉庁舎	—	0.8



基本情報	リストNo	03-024	施設コード	04493	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	高台協働センター				施設	中央区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	3	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
	設置の継続性・妥当性	設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。				
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すとされる。				
		特記事項	生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。				
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	地域ふれあいフェスタ事業	2023	267	—	4,650	
			2022	268	—	3,211	
			2021	267	—	620	
	事業②	子ども講座、子育て教室	2023	59	195	181	
			2022	81	156	136	
			2021	71	97	86	
	事業③	アクティブシニア講座、アラカルトレッスン(旧レディースセミナー)	2023	98	320	246	
			2022	133	320	290	
			2021	129	320	274	
事業④	ヒューマンセミナー、地域文化セミナー、学習成果活用事業、地域づくり講座、浜松市と大学との連携事業	2023	182	415	362		
		2022	143	398	284		
		2021	266	452	559		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化により修繕の必要な箇所が多いが、一度には工事できないため、毎年、少しずつ修繕をおこなっている。また緊急修繕も多く、根本的な修繕に至っていない箇所もあり、数年毎に修繕を繰り返しているケースもある。					
	対応策	利用者に迷惑がかからないよう、効果的で効率的な修繕を検討する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	22,962	20,586	22,417	1人当たりのコスト(円)	781	857,340	656
	施設利用率(%)	36.7	34.0	32.0	1開館日当たりのコスト(円)	125,198	112,242	122,226
	1日当たり利用者(人)	160	0	186	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—



参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋

利用者の圏域毎の方向性

地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。

利用用途別分類毎の方向性

今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。

個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他

住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。

リストNo	03-025	施設コード	04494	
利用用途別分類(施設分類)	集会施設			
施設名	西部協働センター			
所在(町名・番地)	中央区広沢一丁目21-1			
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 嶋津 裕亮	
	施設	中央区・まちづくり推進課	課長名 宮崎 幹啓	
設置根拠(法)	—			
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例			
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。			
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	8:30 ～ 21:30			
建物情報	総延床面積	1,496.92	土地面積 2,238.45	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	3		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.15		
	耐震工事(主要建物)	有		
	建築年月日(主要建物)	1978/3/1		
経過年数(主要建物)	46	うち所有面積 2,238.45	うち借地面積 0.00	
用途地域	第一種中高層住居専用地域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	182,962	—	182,962
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	182,962	—	—	182,962
特記事項	—			



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	2,909	2,660	2,437
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	218	497	468
	収入計(A)	3,127	3,157	2,905
	支出(千円)	25,200	25,200	22,400
人件費	25,200	25,200	22,400	
物件費(委託料)	2,429	1,750	1,726	
維持補修費(修繕費)	757	733	602	
物件費(光熱水費)	2,955	3,619	2,672	
物件費(借地料)	0	0	0	
支出計(B)	31,341	31,302	27,400	
行政コスト(B-A)	28,214	28,145	24,495	
収支前年比	100.25	114.90	95.61	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	3,458	7,608	7,608	
利用状況	利用コマ数/年	13,199	13,215	11,466
	利用可能コマ数/年	39,530	41,159	41,994
	施設利用者数/年	48,217	41,876	46,817
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	184,903	182,960	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	ホール昇降ステージ改修工事	22,000			
2019	浜松市西部協働センターユニバーサルデザイン化整備工事	12,807			
2002	耐震補強・大規模工事	209,895			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-006	勤労会館(Uホール)	地域	0.7
03-078	城北会館	コミュニティ	0.8
03-081	文丘集会所	コミュニティ	0.9
03-008	鴨江アートセンター	地域	1.4
03-023	富塚協働センター	生活	1.5
03-021	和地山公園集会所	生活	1.5
03-010	文化コミュニティセンター(クリエート浜松)	地域	1.7
03-009	はまこら(市民協働センター)	市域	1.8
15-146	市立高等学校	市域	0.0
13-006	鹿谷(市立東)団地	地域	0.3
07-015	ひろさわ放課後児童会	生活	0.3
15-015	広沢小学校	生活	0.3
07-006	広沢子育て支援ひろば	生活	0.4
04-016	犀ヶ崖資料館	地域	0.5
14-031	浜松第3分団	コミュニティ	0.5
07-073	中部学園放課後児童会	生活	0.6



基本情報	リストNo	03-025	施設コード	04494	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	西部協働センター				施設	中央区・まちづくり推進課
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すとされる。				
		特記事項	生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。				
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	地域ふれあい事業	2023	432	—	1,191	
			2022	432	—	741	
			2021	432	—	171	
	事業②	浜松ヒューマンセミナー	2023	196	420	405	
			2022	140	300	359	
			2021	210	360	424	
	事業③	子ども講座	2023	56	95	78	
			2022	109	134	165	
			2021	67	120	124	
事業④	地域文化セミナー	2023	74	265	222		
		2022	77	180	203		
		2021	84	225	144		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	部屋数11部屋に対し、駐車場が26台分と、明らかに駐車場が不足している。					
	対応策	利用者へ1部屋あたりの駐車場利用台数を5台とすることの協力の呼びかけをしている。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	18,848	18,802	16,364	1人当たりのコスト(円)	585	672	523
	施設利用率(%)	33.4	32.1	27.3	1開館日当たりのコスト(円)	78,591	78,398	68,231
	1日当たり利用者(人)	134	117	130	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)			供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	<p>地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

リストNo	03-026	施設コード	04495
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	佐鳴台協働センター		
所在(町名・番地)	中央区佐鳴台二丁目24番1号		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 嶋津 裕亮
	施設	中央区・まちづくり推進課	課長名 宮崎 幹啓
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例		
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:30 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	1,223.85	土地面積 2,480.11
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1987/3/15	
土地情報	うち所有面積	2,480.11	
	うち借地面積	0.00	
代表地目(現況地目)	官公庁用地		
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	374,000	—	374,000
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	374,000	—
特記事項	—		



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	2,739	3,365	3,495
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	270	100	112
	収入計(A)	3,009	3,465	3,607
支出(千円)	人件費	23,200	33,600	33,600
	物件費(委託料)	2,565	2,742	1,742
	維持補修費(修繕費)	1,914	1,182	690
	物件費(光熱水費)	2,818	3,561	3,101
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	30,497	41,085	39,133	
行政コスト(B-A)	27,488	37,620	35,526	
収支前年比	73.07	105.89	96.68	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	12,013	12,013	12,013	
利用状況	利用コマ数/年	11,796	13,021	12,256
	利用可能コマ数/年	30,622	33,633	33,483
	施設利用者数/年	42,063	51,896	52,051
	開館日数/年	359	359	359
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	270,148	101,564	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2022	屋根防水工事	14,594			
	2018	自動火災報知機更新工事	3,164			
	2016	ユニバーサルデザイン化整備工事	33,960			
	2013	空調設備更新工事	3,255			

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
03-049	可美協働センター	生活	1.1	
03-038	入野協働センター	生活	1.6	
同分類				
その他の分類	08-005	佐鳴台保育園	生活	0.2
	15-016	佐鳴台小学校	生活	0.3
	07-009	さなる放課後児童会	生活	0.3
	15-099	佐鳴台中学校	生活	0.5
	26-007	御前谷ポンプ場	—	0.6
	15-045	入野小学校	生活	0.9
	07-033	めだか放課後児童会	生活	1.0
	26-004	西ポンプ場	—	1.1



基本情報	リストNo	03-026	施設コード	04495	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課
	施設名	佐鳴台協働センター			施設	中央区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	2	再任用(人)	1
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。					
		主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。届書の受付や証明書の発行を行う。				
		主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すとされる。				
		特記事項	生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		子ども講座	2023	137	201	178	
			2022	189	185	247	
			2021	144	220	270	
事業②		地域文化セミナー	2023	56	109	96	
			2022	31	85	175	
			2021	21	30	21	
事業③		地域ふれあいフェスタ事業	2023	1,130	—	3,340	
	2022		1,153	—	3,524		
	2021		462	—	405		
事業④	アクティブ・シニア講座	2023	46	320	249		
		2022	66	320	306		
		2021	39	329	264		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・築30余年が経過し、施設の老朽化が進み、各所に不具合が発生している。 ・利用可能人数や実際の利用者数に比べ、駐車可能台数の絶対数が少ない。					
	対応策	・施設の修繕については、緊急性の高い箇所から計画的に順次対応している。 ・駐車台数が足りない場合は旧教育センター跡地を利用していたが、令和5年3月から佐鳴台保育園の移転に伴い駐車不可となる。今後、駐車場の確保について検討する必要がある。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	22,460	30,739	29,028	1人当たりのコスト(円)	653	725	683
	施設利用率(%)	38.5	38.7	36.6	1開館日当たりのコスト(円)	76,568	104,791	98,958
	1日当たり利用者(人)	117	145	145	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)			供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	利用者者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>						
		<p>利用状況等による評価(横軸)</p>						
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。</p>						
		1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2024

リストNo	03-027	施設コード	04496
利用用途別分類(施設分類)	集会施設		
施設名	北部協働センター		
所在(町名・番地)	中央区葵東一丁目15番1号		
利用者の圏域別分類等	生活	非中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	課長名 嶋津 裕亮
	施設	中央区・まちづくり推進課	課長名 宮崎 幹啓
設置根拠(法)	—		
条例	浜松市行政センター、支所、協働センター及びふれあいセンター条例		
設置目的	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。		
主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	8:30 ～ 21:30		
建物情報	総延床面積	3,183.89	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	1.00	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1974/1/1	
	経過年数(主要建物)	50	
用途地域	工業地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
設置事業費	185,200	—	185,200
財源	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	185,200	—
特記事項	—		



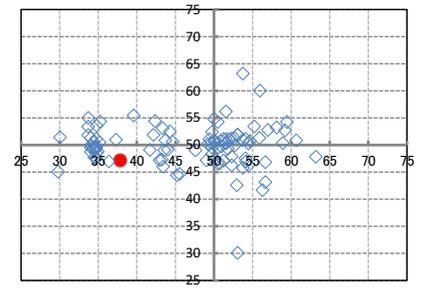
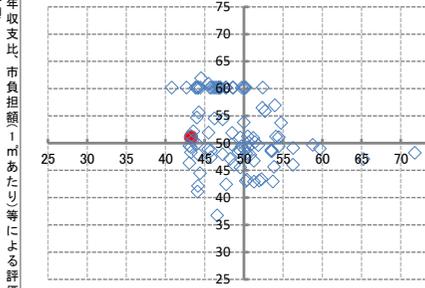
項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	5,566	5,377	4,872
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	541	2,518	949
	収入計(A)	6,107	7,895	5,821
	人件費	28,800	31,200	31,200
支出(千円)	物件費(委託料)	2,926	3,138	2,151
	維持補修費(修繕費)	788	1,074	2,159
	物件費(光熱水費)	6,949	7,433	5,338
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	39,463	42,845	40,848	
行政コスト(B-A)	33,356	34,950	35,027	
収支前年比	95.44	99.78	111.47	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	23,702	23,717	17,852
	利用可能コマ数/年	60,815	52,338	50,506
	施設利用者数/年	103,235	113,806	65,415
	開館日数/年	5,186	359	357
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	183,930	185,200	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2022	空調設備更新工事	7,224	2014	非常用発電機取替工事	6,480
2019	浜松市北部協働センター受電設備改修工事	31,231	2014	体育館給水管改修工事	2,743
2018	ユニバーサルデザイン化整備工事	27,756	2013	ユニバーサルデザイン化整備工事	6,816
2018	吊り天井落下防止対策工事	32,562	2013	埋設水道管改修工事	2,820
2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(建築工事)	32,364	2010	ユニバーサルデザイン化整備工事	21,029
2015	附設体育館他1件吊り天井落下防止対策工事(電気設備工事)	13,109			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-067	葵が丘会館	コミュニティ	0.8
03-075	和泉会館	コミュニティ	1.5
03-076	高丘北会館	コミュニティ	1.6
03-068	葵西会館	コミュニティ	1.7
03-071	瑞穂会館	コミュニティ	1.8
03-007	男女共同参画・文化芸術活動推進センター(あいホール)	地域	1.8
03-070	幸町会館	コミュニティ	1.8
06-005	北図書館	地域	0.0
01-030	北部市民サービスセンター	生活	0.1
13-054	初生団地	地域	0.6
07-079	あおぞら放課後児童会	生活	0.7
15-011	葵が丘小学校	生活	0.7
14-036	浜松第10分団	コミュニティ	1.2
15-102	開成中学校	生活	1.2
10-013	ふれあい交流センター萩原	地域	1.2



基本情報	リストNo	03-027	施設コード	04496	所管課	本庁	市民部市民協働・地域政策課	
	施設名	北部協働センター				施設	中央区・まちづくり推進課	
	人員数	正規職員(人)	2	会計年度任用職員(人)	4	再任用(人)	1	
複合施設								
関連政策名								
市民一人ひとりが活躍する市民協働の推進・生涯学習を享受できる機会の充実								
施設運営分析	設置目的(再掲)							
	コミュニティ活動を通じた活力ある地域づくり及び生涯学習の推進を図ることを目的として設置する。							
	主な業務内容	貸し館業務・自主事業(講座等の企画・開催)・地域づくり活動の支援。						
	主な利用者	地域活動団体、一般利用団体、小学校児童・中学校生徒、自治会、社会福祉協議会、老人クラブ、その他地域住民など						
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定かつ継続的な利用者があり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		高齢化の進展により身近にある施設として更に存続ニーズは増すとされる。					
	特記事項		生涯学習、地域コミュニティの拠点として必要不可欠な施設である。					
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	地域文化セミナー	2023	193	431	2,950	
2022				280	500	463		
2021				238	219	256		
事業②		地域ふれあい事業(協働センターまつり等)	2023	259	—	1,000		
			2022	282	—	1,000		
			2021	279	—	1,000		
事業③		青少年健全育成事業(北部ジュニア公民館)	2023	187	—	1,600		
			2022	53	—	200		
			2021	135	—	200		
事業④	子ども講座	2023	123	460	392			
		2022	110	410	355			
		2021	92	177	181			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	・竣工から40年以上が経過し、付帯設備の故障や経年劣化による不具合などが発生している。・交通アクセス等、利便性が良く利用者数が多いが、敷地内に併設している図書館や市民サービスセンターの利用者も多く、行きたい施設に迷う場合が多々見られる。また、慢性的な駐車場不足により、施設の貸出制限を設けざるを得ない。						
	対応策	・駐車スペースの拡充。 ・施設の長寿命課推進による修繕及び付帯設備の更新。 ・市民サービスセンターのPR促進						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
		統廃合	—	—	—	—		
		複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—			
民活導入	市民協働によるまちづくりを進めるために、地域の希望に応じて施設の管理・運営を地域の団体に委ねるなど、民間活力の活用を進めていく。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	10,476	10,977	11,001	1人当たりのコスト(円)	323	307	535
	施設利用率(%)	39.0	45.3	35.3	1開館日当たりのコスト(円)	6,432	97,354	98,115
	1日当たり利用者(人)	20	317	183	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	地元や周辺住民が生涯学習やレクリエーションの拠点として利用している施設は、地域の実情を踏まえた上で、サービス提供の充実や維持管理コストの縮減、利用環境の向上のバランスを図りつつ、協働センターやふれあいセンターなどの地区の中心となる施設を拠点施設として位置づけ、他の施設機能の複合化や多目的利用、公共空間の積極的な活用を進めるとともに、民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。小中学校や保育園・幼稚園は、別途、利用用途別分類によるものとし、それ以外の施設は、利用団体への管理主体変更や他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類の方向性	今後は、利用者圏域ごとの対応を基本とし、利用用途の性質上、地域性、市民の利便性の向上、稼働率の状況、民間活力の更なる活用にとりわけ配慮しつつ、人口減少率(全年齢)をひとつの目安として、必要に応じて地域組織による運営、施設の統廃合や機能・規模の見直しの検討に努めます。第2種協働センター・ふれあいセンターについては、地域づくりに関する活動の支援をはじめとした行政サービスの提供拠点として位置づけ、現存する全施設において予防保全による適正な維持管理に努めます。「浜松市文化振興ビジョン」で示すホールを有する施設のうち、市外も含めた広域から集客を図る広域施設については、質の高い実演芸術の鑑賞機会を提供する場として、市域全体からの集客を図る市域施設については、市民の文化活動の発表の場として引き続き活用していきます。地域施設については、地域性、建物等の状況や稼働率、施設規模の妥当性などを考慮し、将来的には必要に応じて近隣類似施設への複合化を含めて検討します。学習等供用施設については、当面適切な維持管理に努めますが、老朽化の進んでいる施設も多いため、統廃合や管理主体変更等も視野に入れた検討を進めます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	要検討	(3)その他	—	
住民に最も身近な行政施設であり、地域づくりにおいて地域活動の拠点として重要な役割を担っていくことが見込まれるため、適切な維持管理に努める。								